



文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」（平成27年度採択）  
事業名称「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」

地域で活躍する「地域活性化リーダー」教育プログラム

2018(平成30)年度

# 成果報告書



中部大学

(事業協働機関)

## はじめに

中部大学は、文部科学省の「産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」（24年度採択）、及び「地（知）の拠点整備事業」（25年度採択）における実績を踏まえ、平成27年度より「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」に参加し、建学の精神「不言実行、あてになる人間」を信条として、地域社会の活性化と発展に貢献できる人材、「地域活性化リーダー」の育成を目指して様々な事業を展開しています。

このCOC+事業は、岐阜大学を主管校に、本学、中部学院大学、日本福祉大学、名古屋学院大学が参加し、「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」と称して、岐阜県における地域創生に貢献すべく、岐阜県、（一社）岐阜県経営者協会、（株）十六銀行、（株）大垣共立銀行、（株）マイナビと協働して行っている教育事業です。

事業の目的は、岐阜県内企業のニーズと魅力を理解し、地域に定着して地域産業の担い手となり、地域の活性化に貢献できる人材の育成を目指すことですが、本学に求められている具体的目標は、岐阜県内への就職率の10%アップです。この目標と合わせて、より広く「地域活性化リーダー」の育成という教育目標を達成するために、平成30年度は、研究戦略部門COC推進室という新たな組織の下で、COC+推進委員会を設置し、その下に教育研究部会とキャリア部会を置いて、以下のような各種事業を実施してきました。

各部会では、COC事業における「地域創成メディエーター」の育成と同様に、正課教育の「学ぶ」と、正課外教育の「動く」の両者から、人材育成のための教育プログラムを構成し、活動を行いました。「学ぶ」では、キャリア教育科目、特別課題教育科目、リスク予防管理士指定科目の中から3単位以上の取得を、「動く」では、COC+に参加する5大学共通プログラムである企業見学会、サマースクール、岐阜企業展、企業向け成果発表会に加え、本学独自のPBLぎふゼミ、フィールド活動ぎふ、地域活性型インターンシップ、企業現場教育の活動から必須を含む5つ以上の活動参加を求めており、学生は個々の学修目標に応じて自律的に活動を行いました。

平成30年度においては、昨年度までと同様に予定した活動の着実な実施と、昨年度以上の学生の参加が得られ、「地域活性化リーダー」の育成についても15名の学生にその資格を認定できる予定です。しかしながら、岐阜県内への就職率アップの目標は達成できていないのが現状であり、今後の大きな課題として残っています。

本成果報告書は、平成30年度において実施したCOC+事業の活動と成果をまとめたものであります。本報告書の内容を学内外に広く発信して、本学のCOC+事業に関するご理解を深めていただくとともに、次年度以降の活動に活かしていきたいと考えています。学内外の多くの方々には引き続きご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019（平成31年）3月

中部大学研究戦略部門COC推進室長  
松尾直規



# -目次-

はじめに

## 1. 概要

- (1) 概要図 . . . . . 1
- (2) 運営体制・メンバー表 . . . . . 11

## 2. 活動報告 <学内プログラム>

- (1) 外部特別講師講義 . . . . . 15
- (2) 特別セミナー . . . . . 17
- (3) PBLぎふゼミ . . . . . 19
- (4) 企業現場教育 . . . . . 59
- (5) フィールド活動@ぎふ . . . . . 83
- (6) 地域活性型インターンシップ . . . . . 87  
COC+多治見市ビジネスフェア「き」業展インターンシップ
- (7) 地域活性化リーダーポスター発表会&授与式 . . . . . 91

## 3. 活動報告 <5大学共通プログラム>

- (1) サマースクール . . . . . 93  
サマースクール代替プログラムin中濃  
COC+多治見プロジェクト2018
- (2) 企業見学会 . . . . . 99

(3) ぎふCOC+事業推進コンソーシアム成果発表会 . . . . . 103

(4) 岐阜企業展 . . . . . 105

オール岐阜・企業フェス

岐阜県合同企業ガイダンスin名古屋

岐阜県業界研究&インターンシップ説明会

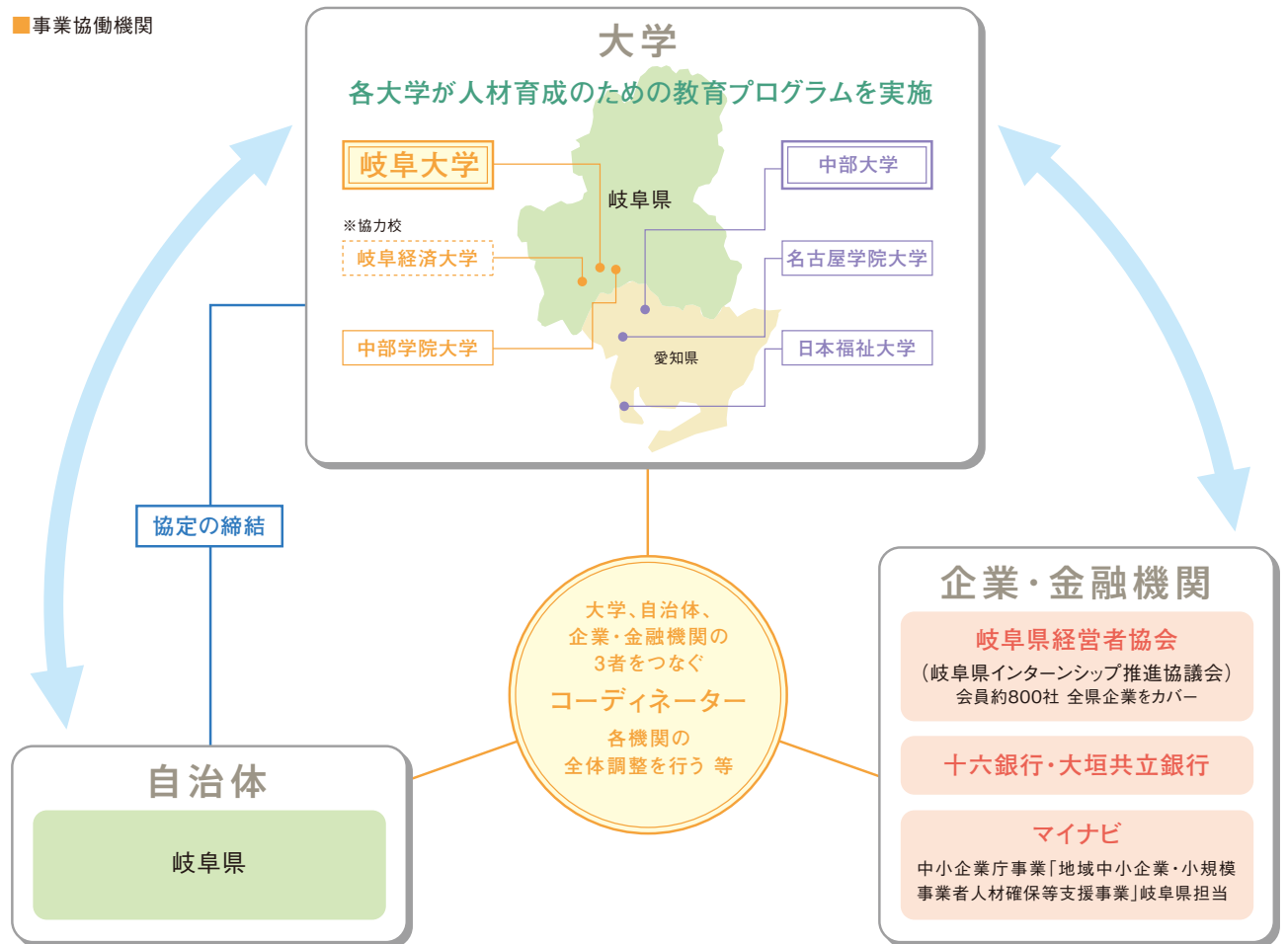
# 1. 概 要

## (1) 概 要 図



## 図解で分かりやすく！COC+事業

■事業協働機関



愛知県内の大学と岐阜県が協働。  
岐阜県内の雇用創出、Uターン就職率向上を目指す。

若年層人口の都市部への一極集中を解消。



これからは  
地域がおもしろい!

特集

地域で活躍したい人必見!

# COC + 事業 プラス に取り組もう

## 「地(知)の拠点大学による 地方創生推進事業(COC+)とは?

文部科学省による事業で、都市部への一極集中、地方との経済格差拡大を解消しようと地域で活躍する人材の育成、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目的にした事業です。

本学に隣接する岐阜県では、特に進学時や就職時に若年層の人口流出が問題となっており、本学は岐阜県からの進学者も多いことから、岐阜県内の大学、地方公共団体、中小企業などと協働して地方(岐阜)の魅力向上につながる計画を策定。「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に岐阜大学を中心とした事業機関と協働した取り組みを申請、採択されました。

このCOC+事業により、本学は学生にとって魅力ある就職先を創出し、地域が求める人材を養成するために必要な教育カリキュラムを行うことで、地方創生の中心となる「ひと」の地方への集積を目指します。

### 事業名

岐阜でステップ×岐阜にプラス  
地域志向産業リーダーの協働育成

### 事業実施期間

平成27年度～平成31年度

### 事業協働機関

中部大学、岐阜大学、中部学院大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜県、一般社団法人岐阜県経営者協会、株式会社十六銀行、株式会社大垣共立銀行、株式会社マイナビ

● 地域活性化リーダー  
資格取得のモデルケース

受講はいつからでも、どこからでもOK!  
必須単位の取得順序に決まりなし!  
それぞれの必要項目を満たした時点で  
認定申請が可能です。

〈例〉A君の場合、2年生から受講スタート。



1年生

- 「社会人基礎知識」(春学期)2単位 **選択必須**
- PBLぎふゼミ(8月下旬・2日間) **必須**
- サマースクール(9月初旬・2泊3日) **必須**
- 「持続学のすすめ」(秋学期)2単位 **選択必須**
- 企業現場教育1回 **選択必須**

3年生

- 地域活性化型インターンシップ **選択必須**
  - 企業向け成果発表会(2月末頃)1回 **必須**
- 地域活性化リーダー認定**  
※岐阜企業展への参加を前提に認定します。
- 就職活動開始(3月初旬～)
- 岐阜企業展(3月中旬) **必須**

就職活動で  
資格を生かそう!

4年生

卒業・就職

- 「学ぶ」の科目から3単位以上選択必須
- 「動く」の活動から5企画以上の参加必須
- PBLぎふゼミは参加必須

■ お問い合わせ先

中部大学 地域連携教育研究推進部(16号館3階)  
電話 0568-51-1763 Eメール plus@office.chubu.ac.jp  
http://www3.chubu.ac.jp/coc-plus/

キャリア教育科目	●自己開拓(1単位) ●社会人基礎知識(2単位)
特別課題 教育科目	●地域共生実践(2単位) ●持続学のすすめ(2単位) ●地域の防災と安全(2単位) ●人類と資源(2単位) ●地球を観る(2単位) ●グローバル環境論(2単位)
リスク予防管理士 指定科目	●安全工学(2単位) ●バイオ産業リスク予防学(2単位) ●食品リスク予防学(2単位) ほか

- 企業向け成果発表会(大学連携) **必須** ●岐阜企業展(大学連携) **必須**
- サマースクール(大学連携) **必須**

選択必須

- 企業見学会(大学連携)
- 企業現場教育

選択必須

- 地域活性化型インターンシップ  
(インターンシップA+B 岐阜県内対象)
- フィールド活動@ぎふ

●課題解決型のゼミナール

「PBLぎふゼミ」は、「岐阜」地域を学びの材料とし、学生自身が地域社会(岐阜はもちろん、自分の出身地など)の中で自分の持ち味を發揮して地域や周囲に関わっていくための力を身に付けることができる体験型学習。

地域をけん引する次世代のリーダーとして  
自ら考え行動する力を身につけた学生に認定

※課外活動への参加、PBLぎふゼミへの参加申し込みは  
地域連携教育研究推進部まで(16号館3階)



企業見学会(大学連携)での会社説明



中部大学のCOC+事業への取り組み

地域で活躍する

「地域活性化リーダー」を育成します

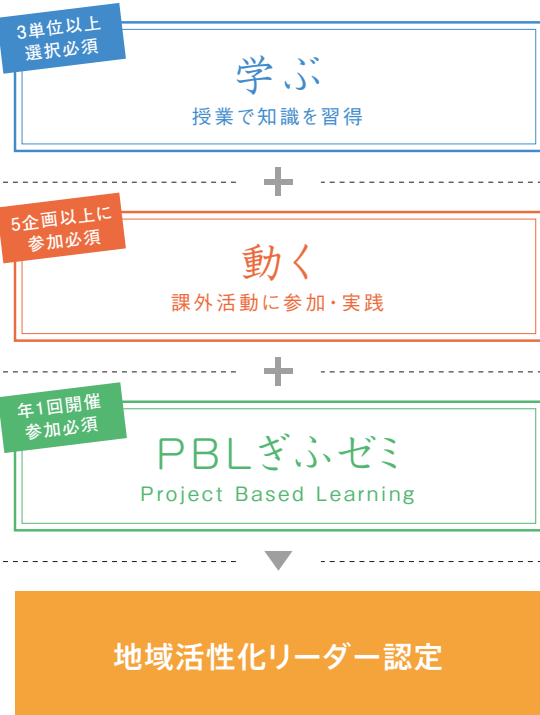
本学は、他大学・自治体・企業・金融機関と協働して岐阜県内の企業と学生との関わりを強化し、地域のニーズにあった人材、「地域活性化リーダー」を育成します。地域活性化リーダーは、岐阜県をモデルに地域の課題を見つけて、その解決に取り組む「ひと」です。

岐阜県がモデル地域ですが、地域を持つ課題は全国的に共通する点も多いので、ふるさとにリターン就職を考えるすべての人におすすめです。

就職活動にも役立つ！

地域活性化リーダーになるには

①所定の単位を修得し、②企業現場教育などの課外活動と③PBLぎふゼミ(Project Based Learning 課題解決型のゼミナール)に参加することで、地域活性化リーダーの資格を取得することができます。



課外活動  
の  
事例

企業現場教育での  
高速道路施工現場見学



企業での地域活性化型  
インターンシップ

こんなキミに  
おすすめ

- 自分の生まれた町が好き。
- 就職はふるさとでしたい。
- 地域活性化に興味がある。
- 就職活動にも役立てたい。



中部大学

# 地域活性化リーダー

## 資格取得ガイド

文部科学省 平成27年度

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」選定取組

ふるさとに  
狙いを  
さだめよう。

ボクらが  
地域の未来を  
つくるんだ!

# 「地域未来」のスキマに キミのチャンスがある!

## これからは「地域」がオモシロイ

人口減少・超高齢社会が地域経済を縮小し、若い世代の地域離れを加速させている現代。  
しかし、いまこそ意識を向けるべきは「地域」です。  
地域の特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生する中心となるのは、やはり「ひと」。  
地域を明るい未来にけん引する、次世代リーダーのやる気と力が求められています。

## 「地域」にこそある、キミの居場所

都心部ではキミは「大勢の中の一人」になるかもしれません。  
でも、地域では一人ひとりの能力や発想、意欲は大切な宝です。  
責任や重圧はあるけれど、仕事のやりがいや魅力をより早く感じることができ、  
自分の可能性がどんどん見えてくるはず。  
充実感にあふれた毎日が、「地域」でキミを待っています!



こんなキミに  
おすすめ

就職は  
ふるさとでしたい。

自分の生まれた  
まちが好き。

## 体験フィールドは、清流の国「岐阜」

長良川の鶯飼、世界文化遺産・白川郷、中山道馬籠宿など、全国的に知られる観光名所が点在する岐阜県。  
自然に恵まれた土壌は農業、林業を盛んにし、美濃焼・刃物などの伝統工芸から、航空・自動車産業に関連する金属加工等の製造業を発展させて、ものづくりに取り組む「ひと」を育ててきました。  
現在、IT産業の育成やアパレル産業の復興にも力が注がれ、未来を担う次世代リーダーが活躍する場は無限に広がっています。  
中部大学は岐阜県恵那市の中部大学研修センターと岐阜県高山市、奥飛騨温泉郷の新穂高山荘を活用して、岐阜県という地域の現状や未来性を体感できる合宿やゼミを行います。

地域活性化に  
興味がある。

実際の仕事や  
現場が見たい。

森や川、  
自然が好き。



中部大学研修センター(恵那市)



中部大学新穂高山荘(高山市)

# 中部大学認定 地域活性化リーダーとは

## 岐阜の地域創生へのキーパーソン

地域活性化リーダーとは、岐阜県をモデルに地域の課題解決を見つけて、その解決に取り組む「ひと」です。資格認定までの道のりは遠く、難しそうだと感じるかもしれませんが、まずは臆せず、面白そうだな、楽しそうだな、と思った科目や課外体験に参加してみてください。考えるよりも行動してみることが大切です。自ずと課題や「自分」も見えて、自己成長にもつながります。また、資格認定は就活にも断然有利。一步前へ、その足を踏み出しましょう！



動けば実り豊か。「自分」のここが育つ！伸びる！

中部大キャンパスで

# 学ぶ

授業で知識を習得

地域や社会に貢献するために、自分はどんな人で何ができるのかを考え、自己を開拓し、社会人基礎知識を授業で習得。地域社会の背景や、問題解決に必要な専門知識も学びます。

3単位以上 必須

岐阜県で

# 動く

課外体験に参加・実践

岐阜県内にキャンパスを広げ、地域の人々とともに、地域特有の課題に取り組みます。その実践過程において、自分の能力や可能性を探り、社会人としての考え方を鍛え、個性を伸ばします。

5企画以上の参加 必須

P  
B  
L

キミのやる気を応援する  
完全バックアップ体制！

地域活性化リーダーの育成は大学、地方公共団体、企業の連携で行われます。

- 岐阜県経営者協会  
(岐阜県インターンシップ推進協議会)
- 十六銀行・大垣共立銀行

岐阜県の会社や企業が課外体験に協力。実社会、現場、仕事を体感できます。

- 就職情報サービス マイナビ

企業と学生のマッチングイベントや就職相談室を常設。資格認定希望者限定の企業情報もあります。

認定

## 動く この資格ならではの。地域志向の「課外体験」

課外体験はすべて岐阜県で行われますが、地域が持つ課題は全国的に共通する点も多く、ふるさとでのUターン就職を考える人には特におすすめ。

### 大学合同プログラム

岐阜大学・中部学院大学・日本福祉大学・名古屋学院大学などの他大学の学生たちと、切磋琢磨しながら交流を図る大学合同プログラム。仲間が増えて人脈も広がります。

### 企業向け成果発表会

自らの学びの成果を企業に向けてプレゼンテーションします。

### 岐阜企業展

岐阜県内企業とのマッチングイベントに参加します。

### サマースクール

宿泊活動を行い、大学間・異学年の交流を深めるとともに企業への取材活動や発表を行います。

### 企業見学会

大学での学びと企業との繋がりを知りキャリア形成意欲の向上を図ります。

### 企業現場教育

企業や現場を訪問し、実際の業務を体験します。現場で求められている人材・スキルを体験から学び、就職に向け、将来像を明確にすることができます。



高速道路 施工現場見学

### 地域活性化型 インターンシップ(A+B)

参加手続：インターンシップA・Bと同じ  
実習先：インターンシップBのマッチング段階で別案内  
COC+事業協働機関の協力を得て魅力ある岐阜県の企業、官公庁などで行われる「地域活性化型インターンシップ」へ参加します。岐阜県出身者や岐阜県の企業に関心のある学生には特に有益な就労体験です。

### フィールド活動@ぎふ

研究室が岐阜で展開しているさまざまな研究・教育活動へ参加。実際に現地で情報を収集し、課題や背景を理解し、解決に挑戦します。講義室を飛び出し、現実世界を自ら体験しましょう。



「新・森の健康診断」



「ジュニアセミナー」

## PBL

ぎふゼミ  
Project Based Learning

仕事に必要な共同作業の能力を養うために、Project Based Learning(課題解決型学習)を、岐阜県をテーマにグループ単位で行います。実社会に対応するリアルな問題に對し、その解決過程に参画することで実践的思考を鍛えます。

課題解決型学習の流れ



# 中部大学 3つの「あてになる人間」育成プログラム

「あてになる人間」育成プログラムの資格は、単位取得だけでなく、そのプロセスにおいて中部大学の建学の精神「不言実行、あてになる人間」の素質を身につけた学生に認定されるものです。同じ資格に何度でもトライ可能、各資格に共通する講座やプロジェクトもあるので、別の資格を重ねて取得することもできます。

春日井のまちがキミのキャンパス

## 地域創成メディエーター

地域の人と人をつなぐ結びつけるメディエーター [mediator(媒介者)]となり、主体性をもって解決の一步を踏み出す力を身につけた学生に認定される資格です。

全学部対象

地域志向、ふるさと志向

## 地域活性化リーダー

岐阜県を通して地域の良さを知り、その特徴を生かし、地域をけん引する次世代のリーダーとして、自ら考え行動する力を身につけた学生に認定される資格です。

全学部対象

21世紀産業界の即戦力になる

## リスク予防管理士

産業活動において重要課題ニーズとして求められる「リスク予防・リスク管理・リスク低減」のスキルを実践的に修得した学生に認定される資格です。

工学部・応用生物学部・生命健康科学部 対象

地域創成メディエーター  
発表会・審査会

動く | 課外 / 1個以上の参加

- 生活・住環境を考えるまちづくり
- コミュニティ情報ネットワーク
- 高齢者・学生交流  
Learning Home Stay
- キャンパスタウン化
- 報酬型インターンシップ
- シニア大学 など

動く | 課外・一部正課 / 5個以上の参加

- 企業向け成果発表会 大学連携 必須
- 岐阜企業展 大学連携 必須
- サマースクール 大学連携 必須
- 企業見学会 大学連携
- 企業現場教育 岐阜県内対象 選択必須
- 地域活性化型  
インターンシップ 岐阜県内対象・インターンシップA+B:3単位 選択必須
- フィールド活動@ぎふ 岐阜県内対象のゼミ単位プロジェクトなど 選択必須

動く | 課外

企業現場教育 必須

どの資格も  
思い立ったら  
始めどき!  
いつでもチャレンジ!!

受講はいつからでも、どこからでも。  
必須単位の取得順序に決まりはありません。  
それぞれの必要項目を満たした時点で  
認定申請が可能です。

学ぶ | 正課 / 10単位以上

- キャリア教育科目 1単位以上必須  
自己開拓:1単位 / 社会人基礎知識:2単位
- 特別課題教育科目 2単位以上必須  
地域共生実践・持続学のすすめ ほか:各2単位
- 地域関連科目 2単位以上必須  
すべての科目より自己選択・申請

学ぶ | 正課 / 3単位以上

- キャリア教育科目 自己開拓:1単位 / 社会人基礎知識:2単位
- 特別課題教育科目 地域共生実践・持続学のすすめ ほか:各2単位 選択必須
- リスク予防管理士指定科目 バイオ産業リスク予防学 ほか:2単位  
岐阜県企業より特別講師を招聘

学ぶ | 正課・一部課外

- リスク予防管理士特別セミナー 必須  
企業経営者クラスによる講演
- リスク予防管理士指定科目 必須  
バイオ産業リスク予防学 ほか:2単位  
企業より特別講師を招聘



地域連携教育研究推進部の事務局またはWebサイトで、詳しい情報が入手できます。

<http://www3.chubu.ac.jp/coc-plus/>

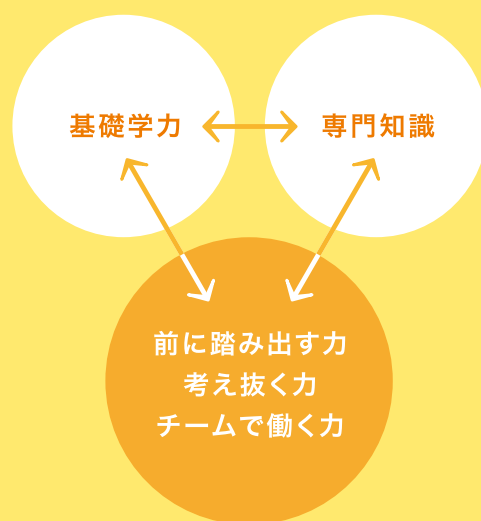
中部大学 COCプラス

検索

# チャレンジする勇氣と実行。

## もっと社会に、より地域に近い教育を。

中部大学の3つの「あてになる人間」育成プログラムは、  
在学中から社会経験を積み、社会で生きていくための  
即戦力を身に付けることができる中部大学方式の人材育成プログラム。  
その目標を資格取得要件に定めていますが、  
資格そのものが大事なのではなく、資格取得までの道のりこそが  
「意義」と「価値」がある「行動」です。  
自分の可能性を信じて、挑戦してみませんか？







## 地域志向、ふるさと志向。中部大学COC<sup>プラス</sup>事業

中部大学の「地域活性化リーダー教育プログラム」は平成27年、文部科学省の大学COC+事業(大学連携取組「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」)に採択されました。岐阜をモデル地域として、その魅力や課題を見つけ、特徴を生かして課題解決に向けて行動する能力を備えた、若き産業リーダーの育成に取り組んでいます。地域活性化リーダーの資格への挑戦は貴重な経験であり、その努力が実った資格認定は達成感や充実感があり、自分の自信と誇りになります。仲間とともに地域を、そして自分を創生しませんか。

### 中部大学 研究推進事務部COC推進課

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地(16号館3階)

TEL 0568-51-1763 FAX 0568-51-4659

E-mail: plus@office.chubu.ac.jp



中部大学の「地域活性化リーダー教育プログラム」は、文部科学省が地域の課題解決に取り組む大学を支援する「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」=大学COC+(Center of Community Plus)事業です。

詳しくはWebサイトへ

<http://www3.chubu.ac.jp/coc-plus/>

中部大学 COCプラス

検索

## (2) 運営体制・メンバー表



「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+事業）」運営体制  
【ぎふCOC+事業推進コンソーシアム】

<b>構成団体</b>	岐阜大学、中部学院大学、 <u>中部大学</u> 、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜県、岐阜県経営者協会、十六銀行、大垣共立銀行、マイナビ ＜協力校＞ 岐阜経済大学
<b>役員</b>	代 表（1名）：岐阜大学長 副代表（2名）：岐阜大学理事、 <u>中部大学長</u>
<b>事務局</b>	岐阜大学研究推進部社会連携課

**運営会議** 事業の運営に関する重要な事項を審議する。  
岐阜大学長・理事・地域協学センター長・統括事業推進コーディネーター、中部学院大学長、中部大学長、日本福祉大学長、名古屋学院大学長、岐阜県知事、岐阜県経営者協会会長、十六銀行頭取、大垣共立銀行頭取、マイナビ事業本部長

**評価委員会**  
事業の着実な実施と事業実施による成果を産官学金言等の有識者により検証する。

**幹事会** 事業協働機関の実務担当者及び事業推進コーディネーターで構成し、事業全体企画・運営について調整する。  
岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜県、岐阜県経営者協会、十六銀行、大垣共立銀行、マイナビ

**人材育成企画部会**  
岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学

**連携・マッチング推進部会**  
岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜県、岐阜県経営者協会、十六銀行、大垣共立銀行、マイナビ

# 1. 概要

## 平成30年度 COCプラス推進委員会名簿

委員長	研究戦略部門COC推進室長 (工学部長、都市建設工学科)	松尾直規
委員	副学長(教育戦略部門担当)	杉本和弘
同	副学長(研究戦略部門担当)	竹内芳美
同	研究戦略部門COC推進室副室長 (工学部 応用化学科)	櫻井誠
委員	教育戦略部門 キャリア部長	細川健治
	工学部 応用化学科	幅上茂樹
	経営情報学部 経営総合学科	澤村隆秀
	国際関係学部 国際学科	桃井治郎
	人文学部 コミュニケーション学科	三摩真己
	応用生物学部 環境生物科学科	上野薫
	生命健康科学部 生命医科学科	伊藤守弘
	工学部 電気電子システム工学科	廣塚功
	工学部 都市建設工学科	余川弘至
	工学部 応用化学科	宮内俊幸
	工学部 ロボット理工学科	藤吉弘亘
	経営情報学部 経営総合学科	趙偉
	国際関係学部 国際学科	羽後静子
	人文学部 歴史地理学科	三浦陽一
	応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻	和田俊夫
	応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻	小川宣子
	教育戦略部門 入学センター長	佐野充
	教育実習センター	宮川秀俊
	臨床検査技術教育・実習センター	青山友佳
	研究推進事務部長	石井和則
	教務支援課長	出口良太
	キャリア支援課長	渡邊真和
	キャリア支援課	佐野賢志
事務局	研究推進事務部COC推進課長	丹羽ゆかり

## 平成30年度 中部大学COC+教育研究部会

委員長	研究戦略部門 COC推進室副室長 (キャリア部長補佐、工学部 応用化学科)	櫻井 誠
委員	工学部副学部長 (応用化学科)	幅上 茂樹
〃	工学部 応用化学科	宮内 俊幸
〃	工学部 ロボット理工学科	藤吉 弘亘
〃	経営情報学部 経営総合学科	趙 偉
〃	国際関係学部 国際学科	羽後 静子
〃	人文学部 歴史地理学科	三浦 陽一
〃	応用生物学部 環境生物科学科	上野 薫
〃	応用生物学部 食品栄養科学科 食品栄養科学専攻	和田 俊夫
〃	生命健康科学部 生命医科学科	伊藤 守弘
〃	教育戦略部門 入学センター長	佐野 充
〃	研究推進事務部長	石井 和則
〃	教務支援課長	出口 良太
オブザーバー	研究戦略部門 COC推進室長 (工学部長、都市建設工学科)	松尾 直規
〃	教育戦略部門 キャリア部長 (工学部 機械工学科)	細川 健治
〃	キャリア支援課長	渡邊 真和
事務局	研究推進事務局 COC推進課長	丹羽 ゆかり

平成30年度 中部大学COC+キャリア部会

委員長	教育戦略部門 キャリア部長 (工学部 機械工学科)	細川 健治
委員	工学部 電気電子システム工学科	廣塚 功
〃	工学部 都市建設工学科	余川 弘至
〃	経営情報学部 経営総合学科	澤村 隆秀
〃	国際関係学部 国際学科	桃井 治郎
〃	人文学部 コミュニケーション学科	三摩 真己
〃	応用生物学部 食品栄養科学科 管理栄養科学専攻	小川 宣子
〃	教育実習センター教授	宮川 秀俊
〃	臨床検査技術教育・実習センター	青山 友佳
〃	研究推進事務部長	石井 和則
〃	キャリア支援課長	渡邊 真和
〃	キャリア支援課	佐野 賢志
オブザーバー	研究戦略部門 COC推進室長 (工学部長、都市建設工学科)	松尾 直規
〃	研究戦略部門 COC推進室副室長 (キャリア部長補佐、工学部 応用化学科)	櫻井 誠
事務局	研究推進事務局 COC推進課長	丹羽 ゆかり

## 2. 活 動 報 告

### <学内プログラム>

#### (1) 外部特別講師講義





## 外部特別講師 一覧 (平成30年度)

## 工学部

No	授業科目	講義題目	所属企業等名	特別講師氏名
1	スタートアップ セミナー	道路および往路構造物の必要性、 役割、建設の流れ	大日コンサルタント(株)	則竹 博明
2	企業情報システムと 倫理	物流企業におけるICT	(株)セイノー情報 システム	早川 典雄
3	化学英語セミナーA	化学物質のリスク評価と管理入門 ～健康障害を中心に～	(株)富士清空工業所	奥田 篤史
4	原子力工学特別講義	磁気閉じ込め核融合研究の最前線	自然科学研究機構 核融合科学研究所	竹入 康彦
5	ゼミナールA	東海職業能力開発大学校における 人材育成と地域貢献	東海職業能力開発 大学校	田中 英一

## 経営情報学部

No	授業科目	講義題目	所属企業等名	特別講師氏名
1	基礎ゼミナール	女性の社会進出におけるキャリア形成	タック(株)	池田 温香 磯田 佳那
2	基礎ゼミナール	岐阜県企業から学ぶ初年次における キャリア形成	(株)オンダ製作所	箕浦 大輔

## 人文学部

No	授業科目	講義題目	所属企業等名	特別講師氏名
1	地域とメディア	広告会社と岐阜市長選挙	岐阜広告	棚橋 寛治
2	政治学概論	エネルギーで岐阜県経済に 貢献する老舗企業の心意気	丸栄石油(株)	澤田 栄

2. 活動報告<学内プログラム>

応用生物学部

No	授業科目	講義題目	所属企業等名	特別講師氏名
1	食品リスク予防学	株式会社サラダコスモにおける食品リスク管理の事例紹介	(株)サラダコスモ	猪野 嘉中
2	食品リスク予防学	食酢製造におけるトラブル事例と対策	内堀醸造(株)	浅井 未穂
3	食品リスク予防学	リスク管理～食品製造におけるリスク及びリスク予防について～	(株)秋田屋本店	池野 久美子
4	食品リスク予防学	企業活動におけるリスクマネジメント	厚生産業(株)	坂井 猛

生命健康科学部

No	授業科目	講義題目	所属企業等名	特別講師氏名
1	健康運動 トレーニング論	岐阜からオリンピック選手を！ ～スポーツ医・科学を活用した アスリートサポート～	(公財)岐阜県体育協会 御嵩濁河高地 トレーニングセンター	谷口 耕輔

国際関係学部

No	授業科目	講義題目	所属企業等名	特別講師氏名
1	国際基礎演習	高山市の海外戦略について	岐阜県高山市役所	丸山 永二

## (2) 特別セミナー



学生の皆さんへご案内します!



文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+事業)

# 特別セミナー

Vol.6  
参加無料

2018年10月17日(水) 15:20~16:30

会場/中部大学 三浦幸平メモリアルホール

PROGRAM ▶ 開会挨拶 / 15:20~15:25

中部大学 研究戦略部門 COC推進室 室長

松尾 直規

▶ 講演 / 15:25~16:25 講演50分/質疑応答10分

▶ 閉会挨拶 / 16:25~16:30

中部大学 研究戦略部門 COC推進室 副室長

櫻井 誠

## 各務原市の産業と 中部大学との連携について

各務原市長

浅野 健司 氏

各務原市は、岐阜県でNo.1のものづくりのまちです。

そんな各務原市では、産業の振興と地域の活性化を目指すため、

2017年11月17日に中部大学と連携協定を結びました。

また同時に、川崎重工業の主要航空機サプライヤー企業群で組織する

川崎岐阜協同組合(各務原市)も、中部大学工学部と同様の連携協定を結んでいます。

そこで今回は、各務原市の産業や様々な取組の紹介のほか、

今後の中部大学の連携などについてお話しします。

### 講師プロフィール

各務原市生まれ 46歳

1991年岐阜県立加納高等学校卒。

高校卒業後、自動車販売会社での勤務を経て、

2001年から2013年まで各務原市議会議員。

2013年に41歳で市長に初当選。現在2期目。

妻と2女、母親の5人家族。



中部大学 研究推進事務部 COC推進課

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地 TEL.0568-51-1763(直通) FAX.0568-51-4659

E-mail/plus@office.chubu.ac.jp HP/http://www3.chubu.ac.jp/coc-plus/



中部大学

セミナー終了後は、就職ガイダンスを開催します。

## 平成 30 年度 COC+特別セミナー アンケート集計

開催日時 : 2018年10月17日(水) 15:20~16:30  
講演者 : 各務原市長 浅野 健司氏  
学生参加者 : 290名 (工学部 電気システム工学科・電子情報工学科・都市建設工学科・  
建築学科・ロボット理工学科、応用生物学部 環境生物科学科)  
回答者 : 256名 (回答率 : 88%)

### 1. 本日のセミナーに参加して良かったですか？

はい 220名(86%)    いいえ 13名(5%)    無回答 23名(9%)

### 2. 資格取得を考えていますか？

はい 139名(54%)    いいえ 91名(36%)    無回答 26名(10%)

### 3. 本日のセミナーに関して意見や感想を記入して下さい。

- ・各務原市の産業やインターンシップについてよくわかり、興味を持てた。
- ・航空を広げていこうとしているところがいいと思った。「航空のまち」という一つの意識があり、地域活性化につながっていると思った。
- ・どの自治体でもリスク予防の方法などを考えていると思うが、自分の地元や春日井市でも各務原市の「CSIRT(シーサート)」のようなものがあるか知りたいと思ったし、ないのなら是非作ってほしいと思った。
- ・リスク管理体制において、事前対策と事後対応のことしか知らなかったなので、事中共対応のことを勉強できてよかった。リスク管理の資格により関心を持てた。
- ・提案は複数から検討し、相手の否定をせず、しっかり耳を傾けることによって人脈が広がっていくというお話を聞き、自分も実践していこうと思った。
- ・会社を選ぶ際に「・社名で判断しない・会社、経営者の考えを理解する・働くシーンをイメージする」教えていただいたこの3つを意識して就職先を選びたいと思った。
- ・就職活動において「社名で判断しない」には疑問を持った。先輩方に話を聞くと、建築業界ではやはり大手が強いといわれるので社名が重要だと思っている。

他



### (3) PBLぎふゼミ





リーダーシップを  
発揮したい

自分らしくって?  
自分の持ち味を  
知りたい

コミュニ  
ケーションが  
不安...

チームに  
なるとは  
どういうこと?

地域貢献に  
興味がある

人見知り  
で  
グループワークが  
苦手!

そんな学生の皆さんへ

# PBLぎふゼミ

地域・社会で活躍したい! その一步を応援します

「PBLぎふゼミ」は、「岐阜」地域を学びの材料とし、学生自身が自分の持ち味を発揮して地域や周囲に関わっていくための力を身に付けることができる体験型学習です。グループワークを通して自分の新たな一面も見つかるかも?! 気軽にご参加ください。

< 2日間連続プログラム >

8/ **27** 日(月)  
**28** 日(火)

両日とも 9:30 ~ 17:30

場所: 中部大学 5131講義室 (51号館3階)

対象: 全学部1~4年生 受講料: 無料

定員: 40名 (先着順、定員になり次第募集終了)

申込方法: 氏名・学籍番号・学年・携帯番号を  
電話かEメールでお知らせください (締切: 7月13日)

※この「PBLぎふゼミ」は、中部大学認定  
[地域活性化リーダー]資格取得に必須です。

テーマ

「自分が何かを学ぶときのスタイルを探求する」 「自他の価値観について探求する」  
「コミュニケーションについて体験的に学ぶ」 「課題解決のプロセスを体験する」 etc.



文部科学省

地(知)の拠点

平成27年度採択 文部科学省地(知)の拠点  
大学による地方創生推進事業(COC+)

中部大学 研究推進事務部 COC推進課 (16号館3階)

<https://www3.chubu.ac.jp/coc-plus/> ダイヤルイン 0568-51-1763

E-mail: [plus@office.chubu.ac.jp](mailto:plus@office.chubu.ac.jp) 担当: 丹羽・早川

## PBL ぎふゼミの様子



個人ワーク



グルーピング



グループディスカッション



グループディスカッション



発表



発表



プレゼントカード交換



プレゼントカード交換

中部大学 御中

*2018 年度*  
PBL ぎふゼミ  
アンケート集計結果  
報告書

2018 年 9 月  
株式会社ラーニングバリュー

2. 活動報告<学内プログラム>

『PBLぎふゼミ』アンケート集計



目次

プログラム概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

今回のプログラムに関するアンケート

【受講前アンケート】 4

Q 1. このプログラムに期待していますか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Q 2. PBLぎふゼミに参加を決めたきっかけは何ですか？・・・・・・・・・・・・ 8

Q 3. それぞれの力や姿勢について、現在の自分にどれくらい身につけていますか？・・・・ 10

【受講後アンケート】 11

Q 1. このプログラムに満足しましたか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

Q 2. このプログラムを受け、自分自身に対して、新たな発見がありましたか？・・・・ 15

Q 3. このプログラムを受け、「相手のことを知る」ことに変化がありましたか？・・・・ 18

Q 4. このプログラムで、グループのメンバーに自分のことをわかってもらえましたか？・・・・ 21

Q 5. このプログラムを受け、普段の授業への取り組み姿勢に変化がおきそうですか？・・・・ 24

Q 6. このプログラムを受け、今後の学生生活に変化がおきそうですか？・・・・ 27

Q 7. このプログラムを通じて、受講前と比べどのような力や姿勢が身についたと思  
いますか？・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30

Q 8. 「地域活性化リーダー」に向けた活動で、興味のあるプロジェクトは何ですか？・・・・ 31

Q 9. このプログラムの講師について感じたことを自由にお書きください・・・・・・・・ 32

Q 10. このプログラムについて感じたこと、気づいた点などを自由にお書きください・・・・ 34

【受講前・後比較】 36

受講前Q：それぞれの力や姿勢について、現在の自分にどれくらい身につけていますか？

受講後Q：このプログラムを通じて、どのような力や姿勢が身についたと思いますか？

\*アンケートのフリーコメントについては、記入されたままを再現しています



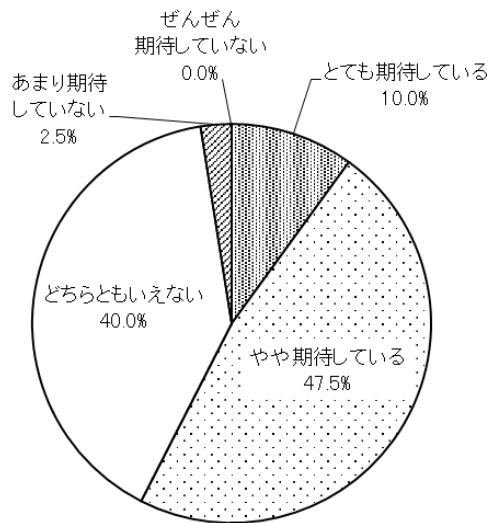
## 受講前アンケート

2. 活動報告<学内プログラム>

『PBLぎふゼミ』アンケート集計

Q 1. このプログラムに期待していますか？それはなぜですか？

期待度



期待度		ととも期待している	やや期待している	どちらともいえない	あまり期待していない	ぜんぜん期待していない	無回答
全体	40	4	19	16	1	0	0
		10.0	47.5	40.0	2.5	0.0	0.0

(上段:人, 下段:%)

## フリーコメント

### 【とても期待している】

- いろいろな人と関り合う。
- コミュニケーション能力の向上。
- 仕事に必要な共同作業の能力を養えると思うから。
- チームや自個に注意を配り、物事を解決する能力の獲得。一人でこれからの能力を得ることは不可能と判断した為。

### 【やや期待している】

- 意見をまとめることが少し上達しそうだから。
- 具体的にどのようなことをしていくのか知らないから。
- グループとのことだったのでどんな考えをする人がいるのか楽しみです。
- 経験値が上がりそうだから。
- コミュニケーション能力を高めたいから。
- 私語をしてもよいから交流が広げられそうだから。
- 持続のすすめという講義で大きく力をつける機会であると紹介されていたから。
- 実際の仕事や現場を見ることが出来るから。
- 自分が知らないことを学べるから。
- 自分自身を向上させることが出来る可能性があるから。
- 自分の持っていない物を身に付けられるから。
- 就職の選択支が増えそうだから。
- 先生にすすめられたから少し期待している。
- 先輩から話をきいていたから。
- 地域活性化リーダーは、就職を有利にさせる資格だと聞き、取得したいと思ったから。  
地域の子供会議のサポーター（現在多治見市で行っています。）として、多くの人の意見を引き出すにはどうすればいいのかを知ることができると思ったから。
- 地域貢献の手法が学べるのではないかと考えているから。
- 中部大公認の資格がとれるため。
- 人前でしゃべるのが苦手なため、少しでも慣れたいから。
- 未知な体験ができるから。

### 【どちらともいえない】

- グループ活動で、意見を話し合うことができるから。
- くわしい内容を理解していないため。
- 詳しくやる内容を理解できていないため。
- 自分自身を見直すいい機会だと思ったから。
- 自分のことをある程度理解しているから。さらにそれを探求し、周りのことを理解することを目的として参加しているから。



## 2. 活動報告<学内プログラム>

### 『PBLぎふゼミ』アンケート集計



- 正直、どんなことをする不安。
- 正確に何をやるかがよく分からないから。
- 内容があまり理解できていない。
- 内容があまりわかっていないから。
- 内容を理解していないから。
- 何を行うのか分からないため。
- なにをするのか、よく理解していないため。
- 何をするプログラムがよく分かっていないため。
- まだ詳しく何をするのかを理解していないため。
- やること、内容がわからないから。
- やることがよく分かっていないため。

#### 【あまり期待していない】

- 内容をまだよくわかっていないため何をやるかよくわからない。

## Q2. PBLぎふゼミに参加を決めたきっかけは何ですか？

### フリーコメント

- ①地域のことをより理解するのに必要だから。②周りとの議論をするため。
- COC+ の資格取得のため。
- 大脇に誘われた。
- 小川先生がすすめていたから。(就職の時に役に立つときいた。)
- 紙広告を目にしたから。
- 岐阜県民だから。
- 教員からの誘い。
- 教員からの誘い。
- 興味があった。
- 資格がとりたかったから。
- 資格がとれると聞いたから。
- 資格を取りたかった。
- 先生、先輩。
- 先生がすすめてきたのと、周りの友達も参加したから。
- 先生の紹介で興味をもった。
- 大学の講義・資格で取得出来るものがあれば、全て取得したかったから。
- たのしそうだから。
- 地域活性化リーダーの資格をとりたと思ったから。
- 地域活性化リーダーが気になったから。
- 地域活性化リーダーに興味があった。
- 地域活性化リーダーに興味があった。
- 地域活性化リーダーに興味があった。
- 地域活性化リーダーに興味があった。青山先生に誘われた。
- 地域活性化リーダーに興味があったから。
- 地域活性化リーダーに興味があったため。
- 地域活性化リーダーに興味があったため。
- 地域活性化リーダーに興味があり、参加したいと思ったから。
- 地域活性化リーダーの過程でこの存在を知ったため。
- 地域活性化リーダーの資格を取得したいと思ったから。
- 地域活性化リーダーの資格を取得したいと思ったから。
- 地域活性化リーダーの資格を取りたかったから。
- 地域活性化リーダーの資格をとるため。
- 地域活性化リーダーの必須活動の1つなため。
- 地域活性化リーダーを取ろうとしたから。

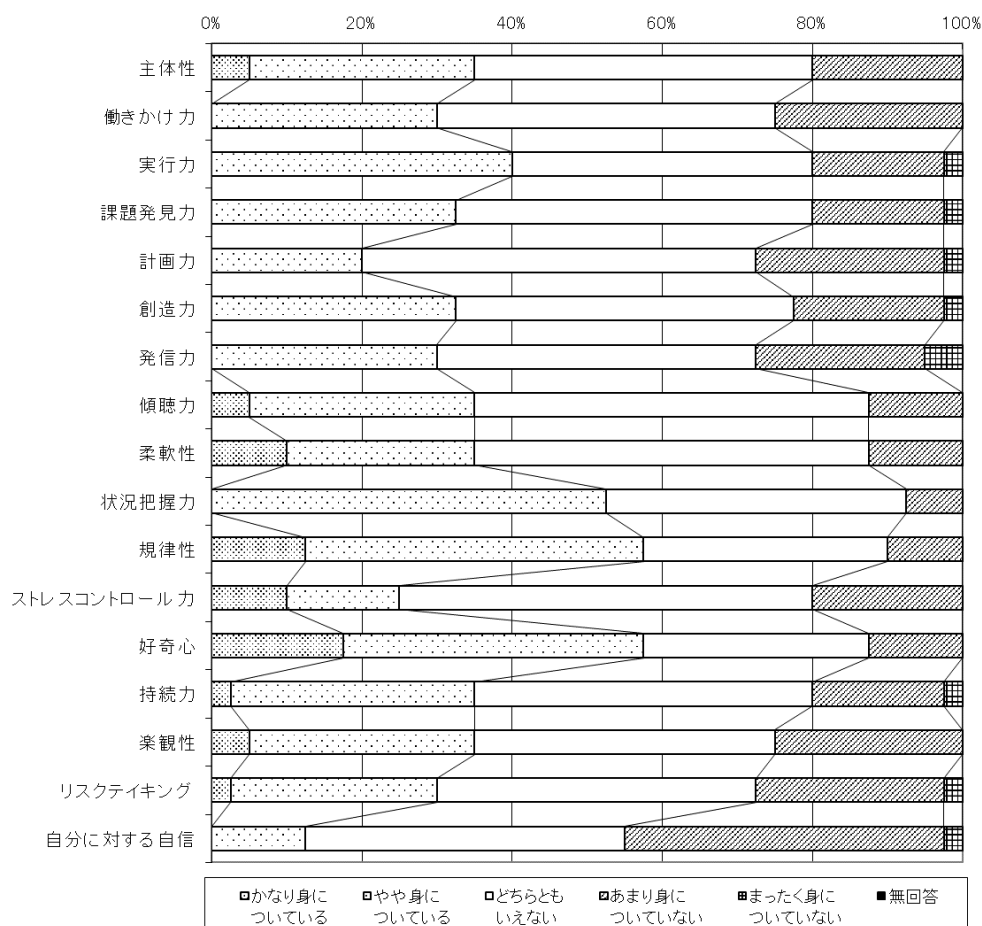
## 2. 活動報告<学内プログラム>

### 『PBLぎふゼミ』アンケート集計



- 友達に誘われた。
- 友達に誘われた。
- 友達に誘われた。
- 友達に誘われた。
- 友達に誘われたため。
- 友達も誘われた。

Q3. それぞれの力や姿勢について、現在の自分にどれくらい身についていますか？



(%)

	サンプル数	かなり身についている	やや身についている	どちらともいえない	あまり身についていない	まったく身についていない	無回答
主体性	40	5.0	30.0	45.0	20.0	0.0	0.0
働きかけ力	40	0.0	30.0	45.0	25.0	0.0	0.0
実行力	40	0.0	40.0	40.0	17.5	2.5	0.0
課題発見力	40	0.0	32.5	47.5	17.5	2.5	0.0
計画力	40	0.0	20.0	52.5	25.0	2.5	0.0
創造力	40	0.0	32.5	45.0	20.0	2.5	0.0
発信力	40	0.0	30.0	42.5	22.5	5.0	0.0
傾聴力	40	5.0	30.0	52.5	12.5	0.0	0.0
柔軟性	40	10.0	25.0	52.5	12.5	0.0	0.0
状況把握力	40	0.0	52.5	40.0	7.5	0.0	0.0
規律性	40	12.5	45.0	32.5	10.0	0.0	0.0
ストレスコントロール力	40	10.0	15.0	55.0	20.0	0.0	0.0
好奇心	40	17.5	40.0	30.0	12.5	0.0	0.0
持続力	40	2.5	32.5	45.0	17.5	2.5	0.0
楽観性	40	5.0	30.0	40.0	25.0	0.0	0.0
リスクテイキング	40	2.5	27.5	42.5	25.0	2.5	0.0
自分に対する自信	40	0.0	12.5	42.5	42.5	2.5	0.0

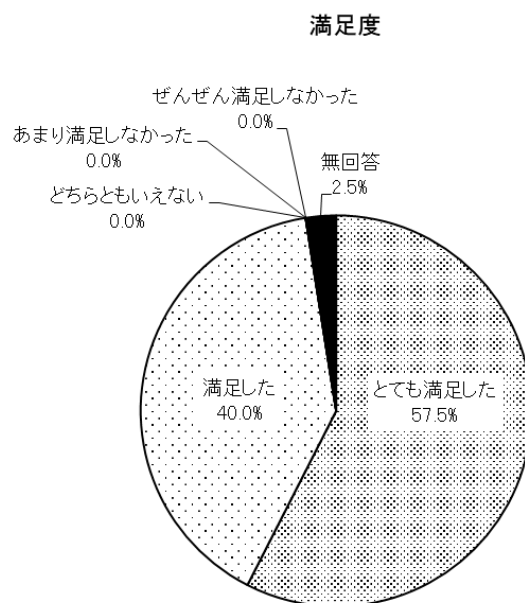
2. 活動報告<学内プログラム>

『PBLぎふゼミ』アンケート集計



受講後アンケート

Q 1. このプログラムに満足しましたか？それはなぜですか？



満足度		とても満足した	満足した	どちらともいえない	あまり満足しなかった	ぜんぜん満足しなかった	無回答
全体	40	23	16	0	0	0	1
		57.5	40.0	0.0	0.0	0.0	2.5

(上段:人, 下段:%)

## 2. 活動報告<学内プログラム>

### 「PBLぎふゼミ」アンケート集計



#### フリーコメント

##### 【とても満足した】

- 新しい自分を発見したから。
- 新しい発見や知識を得ることができた。
- 今ままで、これ程コミュニケーションという物を追求した事がなく、今までに無い経験をさせて頂けた。また、人としても今後の日常に活かせる内容が多かった。グループの人との交流・交友がとても楽しかった。
- 色んな人と交流できたから。先生がおもしろいから。
- 思いの外、交流ができて楽しかった。
- 考えていたものよりも楽しくできたし、自分を知る良い機会にもなった。
- グループが楽しかったため。
- グループ協力が自分の力へと変わった。
- グループの中で自分の立ち位置をしっかりと理解することができた。
- グループのメンツが最高だった！
- グループワークが多くて他学生の人と意見を言い合えたから。
- グループワークがとても楽しかった。満足していて、充実もしたから。
- グループワークがとても楽しく、意見交換が活発であったため。
- 自分の意見や相手の意見を言い合いお互いにちがう意見や考え方をしれたし、とてもたのしかった。
- 初対面だったけど意見をきき、発言できたと思うから。
- 先輩たちと交流できた。しっかりと話し合うことができた。
- たくさんのことを得た。自分のことをよりよく知れた。
- 楽しかったし、色々学べたから。
- 友達が増え、コミュニケーションの大切さを知れたから。
- 話したこと無い人だけで不安だったが、その中でも自分を出そうとできたし、自分の知らない自分もみれた。
- 話したことない人とも、楽しく話し、意見交流できたから。
- 普段、話せないような人達と話せた事は自分の成長に大きく影響すると感じられたため。
- 満足した。グループワークがとてもたのしかった。

##### 【満足した】

- 改めて知ることが多かった。
- いい仲間に出会えたから。
- グループ全員で意見を出し合いながら納得する答えが導けた。
- コミュニケーション力が前よりよくなった気がするし、これまで気づけてなかったことも気づけた。
- 自分が成長できたと感じた。
- 自分自身について見直せた。



- 自分では気づかないことや知らなかったことを発見できたから。
- 自分の、気付かなかった部分に気付けたから。
- 自分のことをよく知ることができたし、コミュニケーションの大切さを学んだ。
- たくさんグループで話せたため。
- たくさん交流することができた。さまざまな意見を聞いた。
- チームワークの大切さ、自分では気付くことのできないことに気付くことができたため。
- 初めて会う人とたくさん話せた。
- 初めての人にも、たくさん意見がはなせたし、2日間たのしいと楽しかったから。
- 話し合うことで協調性が育めた。
- もう少し積極的に参加できたと思う。

**【無回答】**

- 自己理解・他者理解・チームビルディングの目標通りに学べたから。



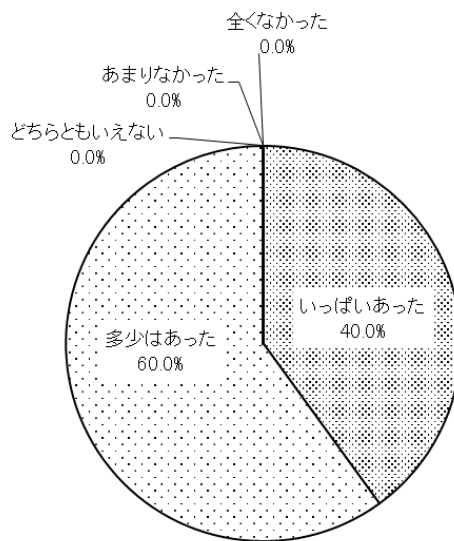
2. 活動報告<学内プログラム>

『PBLぎふゼミ』アンケート集計



Q2. このプログラムを受け、自分自身に対して、新たな発見がありましたか？  
それはどんな点ですか？

自分自身への新たな発見



自分自身への新たな発見		いっぱいあった	多少はあった	どちらともいえない	あまりなかった	全くなかった	無回答
全体	40	16	24	0	0	0	0
		40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(上段:人, 下段:%)

## フリーコメント

### 【いっぱいあった】

- 考える力がいいにあることに気づいた。
- 聞くのが得意。
- 知っていることも多かったが、新たにまとめ役リーダーに向いていることが分かった。
- 自分があまりにも自分自身について無知だったこと。
- 自分が自分をどう見ているかということの他にも、相手からどう見られているかということがあり、後者の方を気にかけてばかりで実は前者を振り返っていなかったことに気付いた。
- 自分がどういった性格をしているかなど。
- 自分の意見を伝えることが苦手だと思っていたけれど、どうしたら相手に理解してもらえるかを考えたら、意見を伝えることができることに気付いた。
- 自分の気づいてなかったことを気づかされた。
- 自分の短所や長所が見つけれられた点。
- 自分は今までリーダーシップという行動をする事がなかったが、積極的に動き、そういった行動をとるのが好きだというのは大きな発見だった。また、グループの仲間からの指摘で自分の欠点も明確となった。
- 初めての人でも、たくさん、意見をいえたこと。
- 人と関わるたのしさ。たくさん話す環境の大切さ。異なる考え方・価値観。
- まわりから意見が評価されていたこと。
- ムードメーカーな点。人の意見を聞ける点。
- 目をしっかり見ることで、伝わり方が違った。
- 物事を違う視点で見ること。

### 【多少はあった】

- 相手が思っている自分は、そんな感じなんだと気付かされた。
- 相手の思っている自分が少しだけ違った。話し合いのコツ。
- 新たなというよりやっぱりなと思うことがあった。
- いろいろな考え方があるということ。
- 笑顔が少ない。
- 笑顔で話すことが多いと思った。
- 国語力があると言われて、おどろいたし、新たな発見でした。
- 自分が考えていたこともあったが、無意識な部分を指摘されたので直していきたいと考えました。
- 自分が気づかなかったことを発見できた。
- 自分をはっきりと自分の意見を言えること。
- 自分から行動すること。
- 自分の意見に自信を持って発言すること。

## 2. 活動報告<学内プログラム>

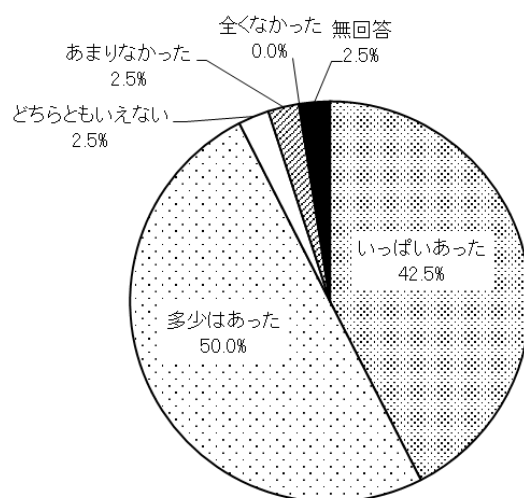
### 『PBLぎふゼミ』アンケート集計



- 自分の素の部分を中心に伝えられたこと。
- 自分の性格やコミュニケーションのとらえ方を知れた。
- 自分はあまり意見とか言えないと思っていたけど、本当は思ったこと、考えをズバズバといていた。
- 自分は他人にもきびしく甘いんだなと思いました。
- 初対面の人と笑顔で話せた気がする。
- 恥をおそれずはなせたこと。
- 話が長かったり、個人に意見を言うてしまう。
- 話すことに自信がなく思いがちだが、自分の中で考えをまとめていることで、自信に基づいたはっきりとした発信ができる。
- 反対意見を持っていてもしっかり話すことができたこと。自己解決で終わらなかったこと。
- 他の人とはちがう考えだったりアイデアがあるらしい。
- 見た目から人の印象が変わるんだと発見した。→髪色などがハデで、ちゃらくみえるが“意外とまじめ”という声があった。
- リーダーシップがあり、まとめる力がある。

Q3. このプログラムを受け、「相手のことを知る」ことに変化がありましたか？  
それはどんな点ですか？

他者理解に変化はあったか



他者理解に変化		いっばい あった	多少は あった	どちらとも いえない	あまり なかった	全く なかった	無回答
全体	40	17	20	1	1	0	1
		42.5	50.0	2.5	2.5	0.0	2.5

(上段:人, 下段:%)

## 2. 活動報告<学内プログラム>

### 「PBLぎふゼミ」アンケート集計



#### フリーコメント

##### 【いっぱいあった】

- 知ったうえで考え方を理解し意見を深く考えようとしたこと。
- 自分からちょっと勇気を出して話してみたり、話を広げることでより、相手のことを知ることができました。
- 自分のことだけでなく、相手の意見も落ち着いて聴いて相手をもっと尊重する。
- 初対面の人との接し方。
- 知らない人との2日間は相手を知る上でいっぱい知れた。
- 他者について知ろうとする気持ちに加え、自分を知ってもらいたいという気持ちも大切だということ。
- 手ぶりや身ぶりを使った相手の特徴を見つけれた。
- とりあえず話してみる！（コミュ障脱却？）
- 他の人の意見や言葉をしっかりと聞いた。
- まず、相手を知るには相手の考えを非難してはいけないし、否定してはいけない。その上で、しっかりと相手の心まで汲みとる。そういった姿勢を大切にしようという考えを持てた。
- 目を見て、聴くことが大切だと思った。
- 目を見て聞く大切さ。

##### 【多少はあった】

- 2日間では知れないとおもってた事までしれたから。
- 相手の意見に反対していても、その相手の意見を含めて、全体の意見を出していたので、相手を知ることも良い意見を生み出すのに重要だと思った。
- 相手の考えを尊重する。
- 相手の感情の変化、気持ちの変化をくみ取れた。
- 相手のことを知る力が身に付いた。
- 相手の話は目を見て聴く。
- 相手の目を見て話す点や、アクションを入れる点。
- 意見の違いがあっても認める。
- 思ったより人のことを見れていること。
- 最初は話せないだろうと思っていた人でも、話してみると気が合ったり、話しやすかったりする。
- 知っていく上でとても相手のことがわかってきてせっしかたもわかってきた。
- 自分が聞こうという姿勢でいることで多くのことを知ることができた。
- 自分が真剣に物事をきけば、真剣に答えてくれること。
- 自分から質問をして、1対1で話すことにより、より深く相手をしれる。
- 自分とまったく同じ性格の人はいないので他人の考え方を知っておもしろかった。
- 自分は雰囲気良くできる点。



- 性格の種類が多さ。
- 第一印象と2日目の印象の違い。
- 人の目をみてきょうみをもつことにいみがあった。
- 目を見て聞くなど基本的な部分を大切にしようと考えようになりました。

**【どちらともいえない】**

- 目を見ると伝わりやすい。

**【無回答】**

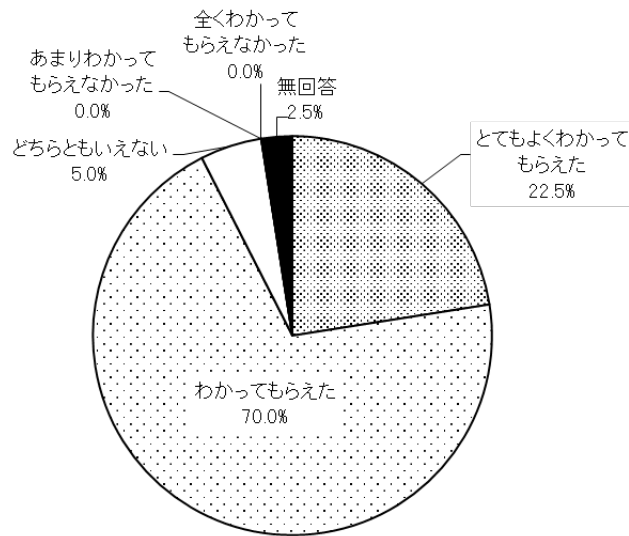
- 人の目を見て聴くことが前よりもできるようになりました。

2. 活動報告<学内プログラム>

『PBLぎふゼミ』アンケート集計

Q4. このプログラムで、グループのメンバーに自分のことをわかってもらえましたか？それはどんな点ですか？

自分のことをわかってもらえたか



自分のことをわかってもらえたか		とてもよくわかってもらえた	わかってもらえた	どちらともいえない	あまりわかってもらえなかった	全くわかってもらえなかった	無回答
全体	40	9	28	2	0	0	1
		22.5	70.0	5.0	0.0	0.0	2.5

(上段:人, 下段:%)

## フリーコメント

### 【とてもよくわかってもらえた】

- 笑顔でいること。
- 自分が以外と意見を言うこと。
- 自分の欠点も良さも理解してもらえたうえにおバカだという点。
- 自分のことを知らない人でも、明るい所や話しやすさがよく伝わった点。
- 自分のことをたくさん話したので分かってもらえた部分は多いのではないかと考えました。
- 自分の性格を周りに知ってもらえてわかってもらえた。
- 自分の体験談や意見。
- 自分の良い点、自分の悪い点。また自分では気付いていない多くのこと。
- 趣味についてとてもよく聞いてもらえた点。

### 【わかってもらえた】

- 間を考えて話したこと。
- 明るい所。
- 絵が好き。
- 大勢の前で発言するのが苦手。
- 聞き上手であること。
- 口数少ない所。
- 最後の、プレゼントカードに、早すぎて分かりにくいと書いてあったが、興奮すると真にその通りだと思った。
- 自分からはなすことが多かったのがわかってもらえたと思う。
- 自分自身で発見出来ない、顔の表情などを指定してくれた。
- 自分では思いもしなかったことをプレゼントカードで教えてもらったこと。また、発言を受け入れている雰囲気があったこと。
- 自分に素直で、直感でどんどん話す。
- 自分の意見を多くではないが言うことができた。
- 自分の意志をしっかり言える。もっている。
- 自分の考え方。
- 自分の気持ちを分かってくれた。
- 自分の性格を多少は。
- 自分の性格を読まれていたのがびっくりした。
- 積極的に意見を言うこと。
- たくさん笑っているところ。
- 楽しそうにしているところを理解してもらえたので。
- ちゃんと話をきいてもらえて、同意だったり、反対の意見もいってもらえたから。
- 特になし。



## 2. 活動報告<学内プログラム>

### 『PBLぎふゼミ』アンケート集計



- 話を盛り上げること。意見を聞き出してまとめること。
- 表面上のことはすべてわかってもらえた。
- マイペースな点。
- もっと自分を出していいと言ってくれた点。
- リーダーシップ。
- 私自身、笑うことが少なく“怒ってる”ようにみえがちだけど、言葉で伝える事で中身がどんな人間か知ってもらえたと思う。

#### 【どちらともいえない】

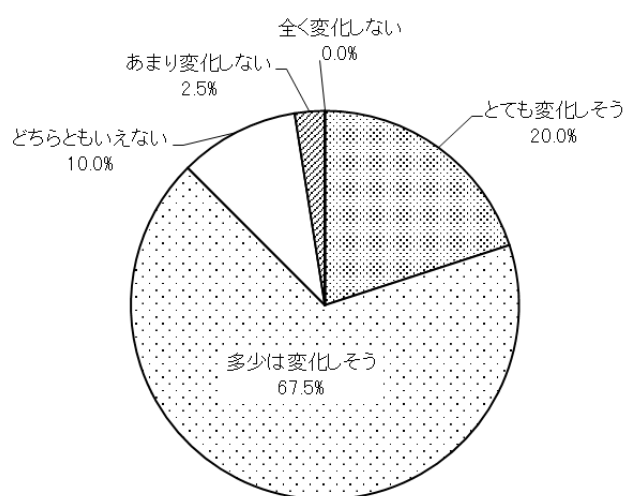
- 自分を出すのにていこうがある。
- 話すことが苦手でしたが意見を理解してもらうことができました。

#### 【無回答】

- 意見を持っているということ。

Q5. このプログラムを受け、普段の授業への取り組み姿勢に変化がおきそうですか？どんな変化ですか？

授業への取り組み姿勢に変化がおきそうか



授業への取り組み姿勢に変化がおきそう		とても変化しそう	多少は変化しそう	どちらともいえない	あまり変化しない	全く変化しない	無回答
全体	40	8	27	4	1	0	0
		20.0	67.5	10.0	2.5	0.0	0.0

(上段:人, 下段:%)

## 2. 活動報告<学内プログラム>

### 「PBLぎふゼミ」アンケート集計



#### フリーコメント

##### 【とても変化しそう】

- Do や Look が多かったため、もっとしんけんに取組みたい。
- いつもより相手のことを意識して、全体を見渡すことにつながる変化。
- グループワークがあったらこの講義をいかしてまとめたり意見をはっきり伝えよう。
- 授業でディスカッションする際の話し合いへの意欲。
- 積極的に意見を言えよう。
- 積極的にコミュニケーションをとっていきたい。
- 他人を意識した受け止め方を学びたいと考えました。
- まず、積極的に受ける。受動的ではなく、全てを取り込むという姿勢で臨もうと思った。

##### 【多少は変化しそう】

- 意見を出しあうことが多くあったので自分の意見が持てるようになった。
- 聴いて応えるように“心”で会話したい。
- 聞きてではなくいけんをいう。
- グループワークの時は活用できるかなと思いました。
- グループワークは楽しいということを知れた。
- グループワークは周りのことをよく考える。
- 自信をもって発言していこうという気持ちになった。
- 自分が思ったこと、言いたいことをもっと発信していこうとするところ。
- 自分の意見を発言していきたい。
- 自分の意見をもつこと。
- 自分の意見を持ってしっかりと相手に発信しようという変化。
- 知らない人にも話しかける積極性をもっていた方が何かと、得なことがある気がした。
- 責極的に意見を言おうと思いました。
- 積極性が増す。
- 接極的になれそう。
- 先生が話の中でどこを一番聞いて欲しいのかなど、話す側の立場になって、聴くことができそう。
- どんな授業もグループワークととらえれば、楽しく学べる。
- なぜそうになっているのか疑問をそのままにせず、調べて自分なりに理解する。
- 何事も積極的になる。
- 話し合いのときにもっと相手の意見を尊重する。
- 人の話をさいごまできこうと思った。
- まず相手の意見を理解しようとする。
- 周りとの助け合い、協力が増えそう。
- もう少しグループ活動を協力してやれそう。
- もっと積極的に参加すること。



- もっと積極的に話そうと思った。
- もっと前向きに取り組もうと思った。

**【どちらともいえない】**

- いかせる場所があったらいかしていきたい。
- グループワークはそっせんして話したり、しっかり聴ける。
- 普段もこういう話し合いの場があったら積極的に話をしようとは思う。
- 学ぶことへの意欲は湧いたが、他の授業でその姿勢を貫けるかは分からない。

**【あまり変化しない】**

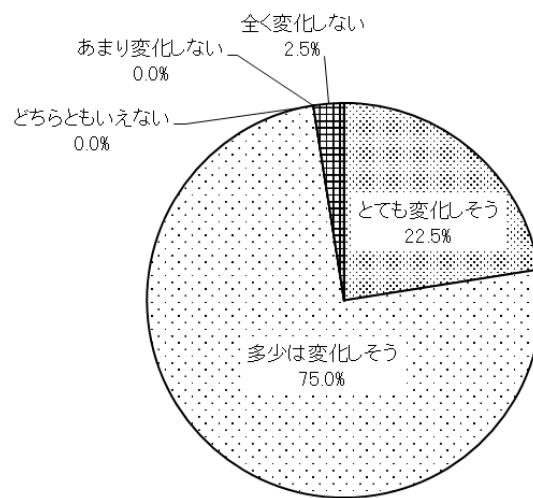
- 授業は関係がない。

2. 活動報告<学内プログラム>

『PBLぎふゼミ』アンケート集計

Q6. このプログラムを受け、今後の学生生活に変化がおきそうですか？  
どんな変化ですか？

今後の学生生活に変化がおきそうか



今後の学生生活に変化がおきそう		とても変化しそう	多少は変化しそう	どちらともいえない	あまり変化しない	全く変化しない	無回答
全体	40	9	30	0	0	1	0
		22.5	75.0	0.0	0.0	2.5	0.0

(上段:人, 下段:%)

## フリーコメント

### 【とても変化しそう】

- 意見を隠さずに言おうと思った。
- 学生生活がより楽しくなると考える。
- グループワークを楽しんで行うこと。
- 自分にとっての自分をもっと知ろうと思えた。自分の強みを知り、己の強みで勝負していきたい。
- 柔軟な頭で、常に考えながら受けれそうだと思う。
- 授業たい度が変わるため、勉強面でよくなりそう。
- 人と関わるのがうまくなっていくと思う。
- 人の話と自分の意見をバランスよくつたえていけたらよいと思った。
- 自ら伝えることの大切さ。

### 【多少は変化しそう】

- 相手にきょうみをもつ。
- 相手の気持ちを考えて話ができそう。
- 相手の話している内容と表情や熱量・声、抑ようなどから、言いたいことを理解する。
- いろんなことに自信を持ってない部分もあるが自信を持って発言していけばいいんだなと思った。
- いろんなことにチャレンジしていきたいと思う。
- 多くの人と関わって生活していきたい。友達の和を広げていきたいと感じました。
- 協力できそう。
- グループワークでの参加を多くできそう。
- グループワークの時にそっせんしてまとめ役ができる。
- ここで学んだことを生かせる場があれば生かしたいと思った。
- こちらも積極性が増す。
- コミュニケーションの能力をつちかったから、それをこれから生かしていきたい。
- これだけ多くの学生がいる中で、話さないのはもったいと感じた。
- 様々な観点から物事を考えるようになる。
- 自分がぶつかった問題を視点を変えて見てみようと思いました。
- 自分から話しかけに行けるようになると思う。
- 自分の意見をしっかり伝え、相手の意見を理解すること。
- 自分の意見を伝えることと、相手の意見を理解すること。
- 知らない人にでも話しかける積極性をもっていた方が何かと、得なことがある気がした。
- 少しずつ、自分から話しかけられる人になっていけたらなと思います。
- 積極さ。人に意見を言うこと。
- 対心関係について改めて知れたので使っていき、今後につなげたい。
- 他人に流されず自分の思っていることを伝えれそう。

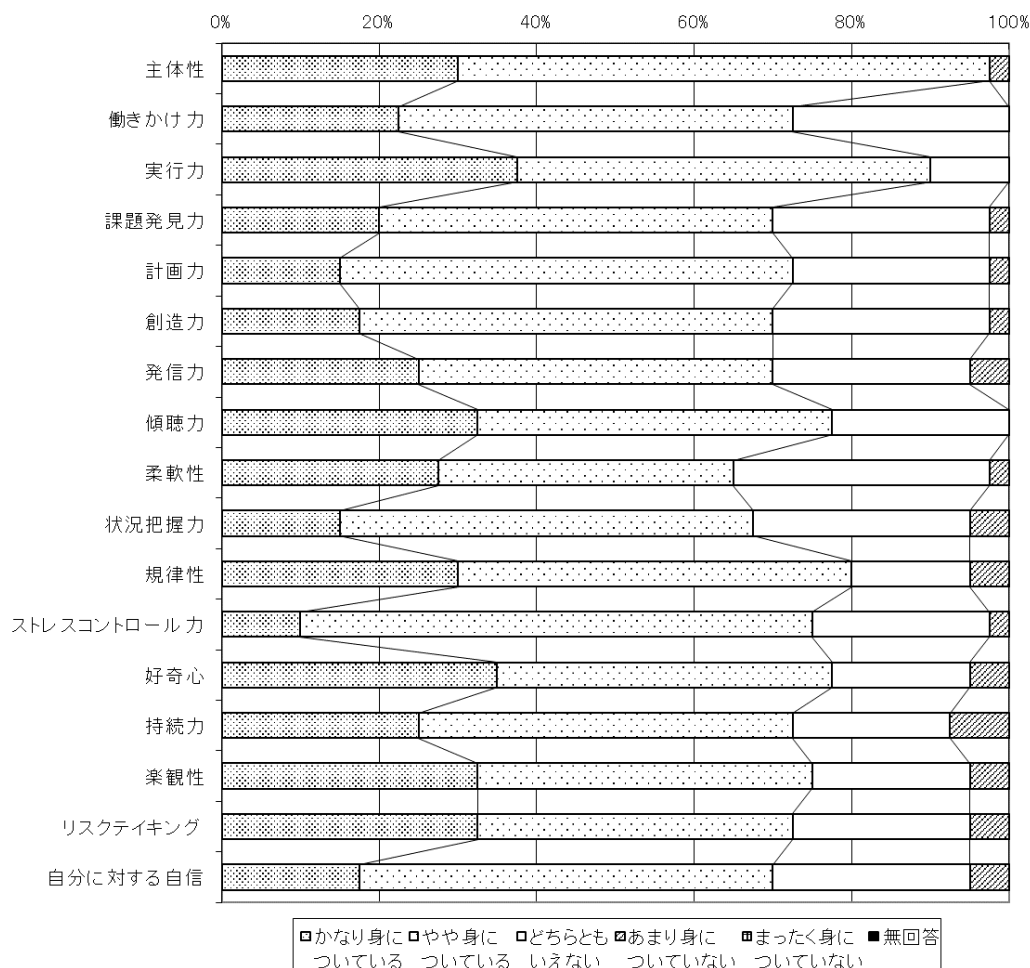
## 2. 活動報告<学内プログラム>

### 『PBLぎふゼミ』アンケート集計



- 楽しくなる!!
- 友達や家族との会話のやり方を変えていけたらと思います。
- どんなことにも参加、チャレンジしたいと思える。
- 人間力をつけることに大切なものをみつけた。
- 初めてさんに関わるのは苦手だと思っていたけど、苦手意識が減ってどんな人とも関われるかなと思う。
- 人との交流が増えたのでいろいろな角度から考えられるようになった。
- 人の話を聞こうと思いました。

Q7. このプログラムを通じて、受講前と比べどのような力や姿勢が身についたと思いますか？

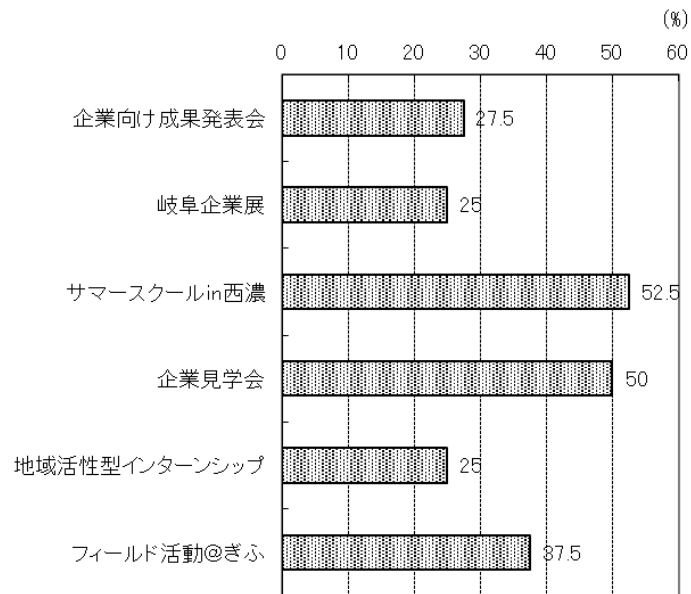


(%)

	サンプル数	かなり身についている	やや身についている	どちらともいえない	あまり身につけていない	まったく身につけていない	無回答
主体性	40	30.0	67.5	0.0	2.5	0.0	0.0
働きかけ力	40	22.5	50.0	27.5	0.0	0.0	0.0
実行力	40	37.5	52.5	10.0	0.0	0.0	0.0
課題発見力	40	20.0	50.0	27.5	2.5	0.0	0.0
計画力	40	15.0	57.5	25.0	2.5	0.0	0.0
創造力	40	17.5	52.5	27.5	2.5	0.0	0.0
発信力	40	25.0	45.0	25.0	5.0	0.0	0.0
傾聴力	40	32.5	45.0	22.5	0.0	0.0	0.0
柔軟性	40	27.5	37.5	32.5	2.5	0.0	0.0
状況把握力	40	15.0	52.5	27.5	5.0	0.0	0.0
規律性	40	30.0	50.0	15.0	5.0	0.0	0.0
ストレスコントロール力	40	10.0	65.0	22.5	2.5	0.0	0.0
好奇心	40	35.0	42.5	17.5	5.0	0.0	0.0
持続力	40	25.0	47.5	20.0	7.5	0.0	0.0
楽観性	40	32.5	42.5	20.0	5.0	0.0	0.0
リスクテイキング	40	32.5	40.0	22.5	5.0	0.0	0.0
自分に対する自信	40	17.5	52.5	25.0	5.0	0.0	0.0



Q8. 「地域活性化リーダー」に向けた活動で、興味のあるプロジェクトは何ですか？（複数回答可）



興味のあるプロジェクト(複数回答可)

	件数	%
企業向け成果発表会	11	27.5
岐阜企業展	10	25.0
サマースクールin西濃	21	52.5
企業見学会	20	50.0
地域活性化型インターンシップ	10	25.0
フィールド活動@ぎふ	15	37.5
全体	40	100.0

**Q9. このプログラムの講師について感じたことを自由にお書きください**

**フリーコメント（Q1の満足度別）**
**【とても満足した】**

- 今まで会った人の中ですごく分かりやすく引き込まれた。
- 怒らないところがすごい。→何にたいしてもプラスで考えれるところをもっと学びたい。
- 講義、という感じがあまりなく、自由に話しあって、というほんわかとしたイメージが話しやすくいいなあと感じました。
- 黒板に向かってじゃなくて学生に向かって話していたので楽しかった。
- 喋り方が好き。感情がコロコロ変わる話し方もすき。
- すごい話しやすく、ききやすい授業だったため、苦じゃない楽しい2日間をすごせた。
- 生徒に対しての、つき合いかたにみりよくを感じる。
- 生徒をよく見、心理をつかむ人物だった。
- 説明が非常に分かりやすかった。先生は丁寧で、身近なもので例えて分かりやすいように説明していて、自分もこういう力をつけたいと思った。
- 楽しそうに話しているなと感じました。
- とても面白い企画やプログラムを考えていると思った。自分達のいいかげんさにも嫌な顔せずすごいと思った。
- とてもたのしい人だった。いい先生に感じた。
- とても話が人を引き込む方だと感じた。
- とてもわかりやすくて（話が）みんなのことをちゃんと考えてくれていました。
- 話し方がうまかったためすごくおもしろかった。
- 話方が上手。
- 話し方がすごくうまくて、相手をなっとくさせる力のある人だと思った。
- 話し方がとても上手で聞いていてとても楽しく学ぶことができました。
- 話し方がとてもよく、楽しかったです。さすが講師の方だと思いました。また、お会いしたいです。
- 話し方によくようがあって、話しに引きこまれる感じがあった。
- 話すことと、伝えることがすごく上手だと思いました。
- 普段の講義の先生よりも自由度が高くて、自分たちがやりやすいようにやれた。この先生の講義があればぜひ受講したい。
- ユーモアあふれる授業だった。1つ1つのお題がとても良かった。

**【満足した】**

- いつも笑顔で楽しい雰囲気だった。
- 笑顔が良いと思った。明るい雰囲気が、積極的にグループワークができる活力になった。
- 硬い人かなと思ったけど、いい意味でフレンドリーで on と off の切りかえがうまい人だ



なと思いました。

- 関西弁が接しやすい。
- 様々なことについて考えさせられる内容でした。
- 説明がわかりやすく、あきさせない話し方であり、とても親しみやすく、聞く事が苦にならなかった。
- とてもおもしろく、楽しくできるように話してくれてとても楽しくできた。
- とても話が聞きやすく、受講時間があっという間に終わってしまう程、充実した時間を提供していただきました。
- 話し方がかたくなるしくなく、スーッと話に入っていけて楽しく聞けたし、わかりやすかった。
- 話し方がやわらかく、聴いていて心地良かった。私たちに分かりやすい言い方をして下さっていた。
- 話し方とかすごく分かりやすかったです。
- 話がとても上手で自分たちにまかせてくださる時間も多くやりやすかった。
- 人に伝えようとする姿勢で勉強になることが多くありました。
- 藤田さんは笑顔・真顔・怒った顔（振り？）などがバツパと入れ換わり、見ていて面白かった。話し方も具体例などを挙げて分かりやすく、声の大きさや間隔、言葉の選び方も聞き（聴き）取りやすかった。調子が私には馴染みないものだったので、楽しかった。
- 優しくわかりやすく教えてくれるいい方でした。
- 例を上げたりなどしてくれ、分かりやすく少し笑うことができるような場もつくってくれ楽しく活動していくことができました。常々と話せるような人になりたい。

**【無回答】**

- 話しの抑揚、場を見る力が強いと感じた。

Q10. このプログラムについて感じたこと、気づいた点などを自由にお書きください

#### フリーコメント（Q1の満足度別）

##### 【とても満足した】

- 行方前の印象とは全然違っていて楽しかった。イメージ全然違うからそれを知ったらもっといろんな人が参加すると思う。
- 思いの外、あっという間でした。
- 思った以上に楽しい！
- グループ活動がたのしいと思った。
- グループで考え意見を交換することの難しさと大切さを知りました。
- グループで楽しくやれるいいプログラムだと思った。
- グループワークが充実していて、とても楽しく活動できました。
- 交流がたくさんあるためとてもよいものだと思った。
- このプログラムは受ける価値が高く、来年も受けたと感じた。
- 最初は緊張と不安がつよかったけど、グループの人が優しくてすぐにうちとけたのでよかったと思った。
- 自分自身の価値や自分の伝えたいことを言える勇気を身につけたいいい機会になった。
- 自分の意見を言えるようになったし、相手の話を聞きだす力を少し身につけたかな…。
- 自分を見つめ直すきっかけになったのでよい経験となりました。
- 社会に出たら、初めて会う人とコミュニケーションをとる機会が増えるから、今回の岐阜ゼミで良い経験ができたと思う。
- すごくたのしい!!
- 楽しく、初対面の人とも色々なことが学べてよかったです。
- たのしく学べるため、みんなにやってほしい。
- ちょーウルトラスーパーたのしい。
- とても良いプログラムだと感じました。もうちょっと時間が欲しいです。
- 何をやるか分からなかったが、やってみて良かったと思えた。
- 人として成長できたと思います。
- よりこのプログラムが学生に伝わってほしい。

##### 【満足した】

- 2日間で初めてはなす人とも仲良くなれることが分かった。
- 2日間プログラムでより考えることが多くなると思う。
- 多くのことについて交流し、すこしでもコミュ障をなくしていくきっかけになったと思います。
- グループワークが多くて、自分一人で考える意見とは違う意見を聞くことができ新鮮



でした。

- グループワークは苦手な人でも、積極的に取り組んでいた。
- 今後生活していく上で大事なことが学べるのでやるべきだと思う。
- 最初は講義形式かなと思ったけど、自らがつくることで楽しかった。
- 自分の考え方の特徴が少し分かったと思う。
- 自分の考えをふり返えるいい機会だと思いました。
- 初対面の人でも2日間で他人のことをよく理解できることが分かりました。
- 特になし。
- なぜこんな心理テストみたいなことを(自分のことは知っていると思い込んでいたので)しなくてはならないのか、と思っていたが、やってみると意外と知らなかったことが見えて、楽しいと思った。これからの生活に活かしたり、家族・友人と共有することで学んだことへの解釈を深められたらいい。
- 話をもっとしたくなったし、相手をしっかり見ようと思った。
- 前よりコミュニケーションができるようになったと感じます。よい経験になりました。

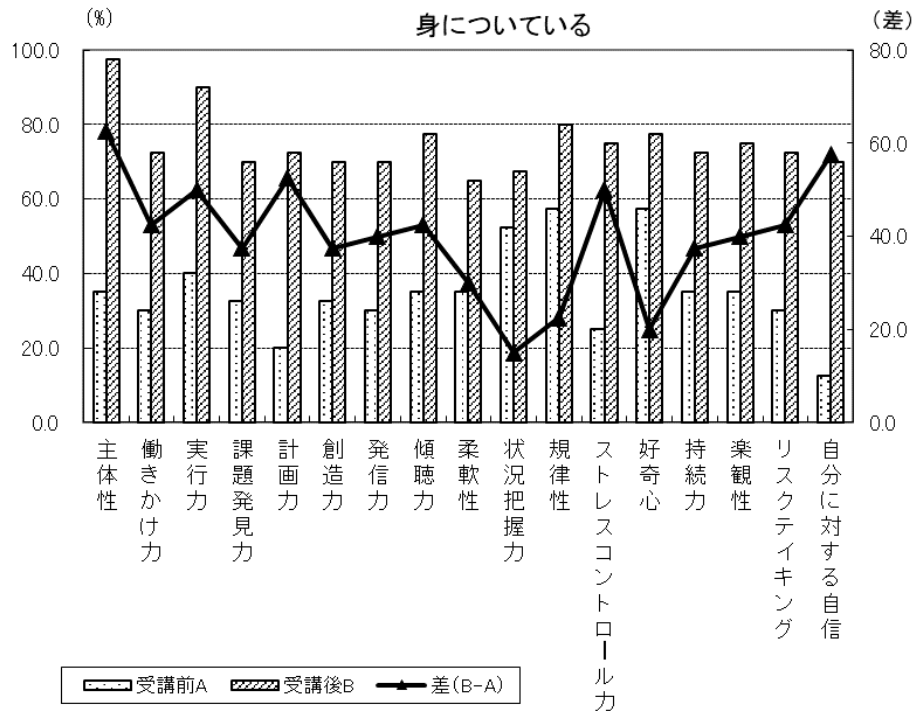
**【無回答】**

- 他学科・他学年の交流は多く、気付きががあるので、こういったイベントには積極的に参加したい。

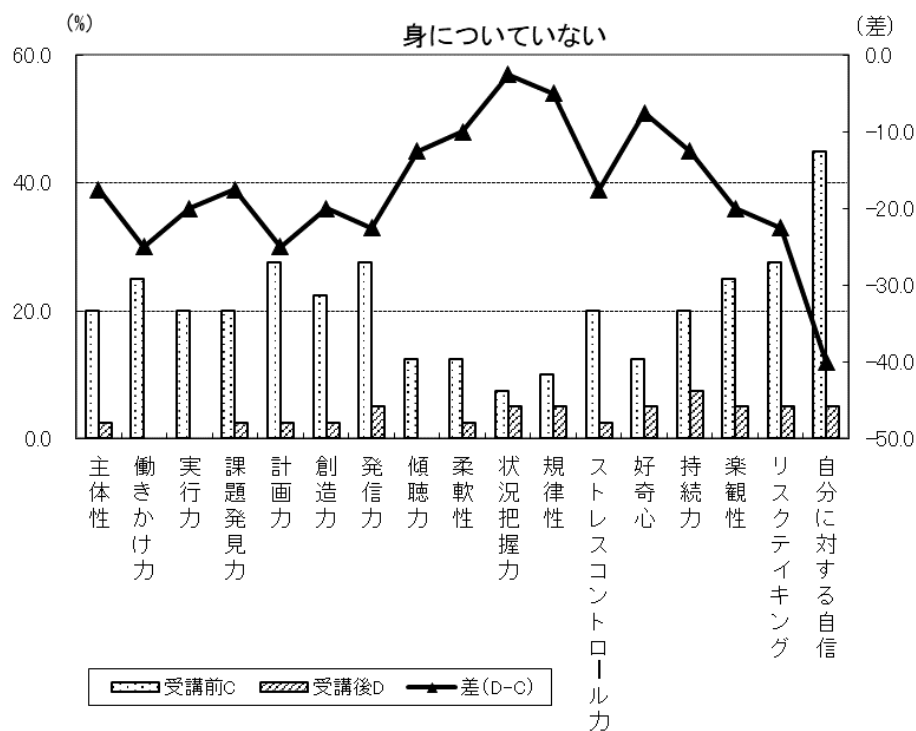


受講前・受講後比較  
(社会人基礎力)

受講前Q：それぞれの力や姿勢について、現在の自分にどれくらい身についていると思いますか？  
 受講後Q：このプログラムを通じて、どのような力や姿勢が身についたと思いますか？

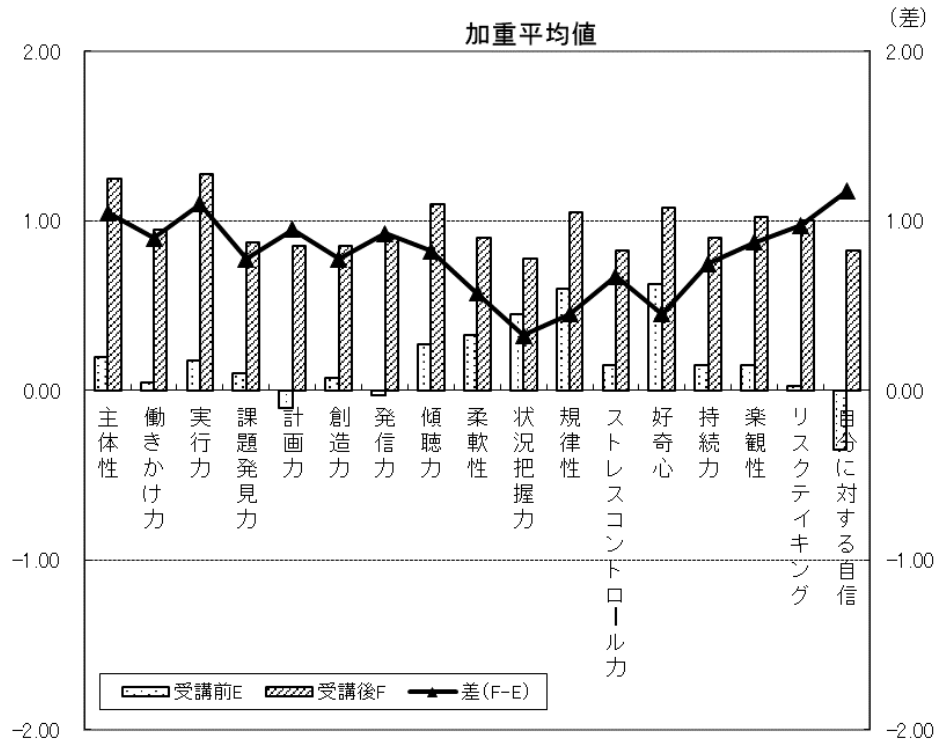


	身についているA-B		
	受講前A	受講後B	差(B-A)
主体性	35.0	97.5	62.5
働きかけ力	30.0	72.5	42.5
実行力	40.0	90.0	50.0
課題発見力	32.5	70.0	37.5
計画力	20.0	72.5	52.5
創造力	32.5	70.0	37.5
発信力	30.0	70.0	40.0
傾聴力	35.0	77.5	42.5
柔軟性	35.0	65.0	30.0
状況把握力	52.5	67.5	15.0
規律性	57.5	80.0	22.5
ストレスコントロール力	25.0	75.0	50.0
好奇心	57.5	77.5	20.0
持続力	35.0	72.5	37.5
楽観性	35.0	75.0	40.0
リスクテイキング	30.0	72.5	42.5
自分に対する自信	12.5	70.0	57.5



	身についていないC-D		
	受講前C	受講後D	差(D-C)
主体性	20.0	2.5	-17.5
働きかけ力	25.0	0.0	-25.0
実行力	20.0	0.0	-20.0
課題発見力	20.0	2.5	-17.5
計画力	27.5	2.5	-25.0
創造力	22.5	2.5	-20.0
発信力	27.5	5.0	-22.5
傾聴力	12.5	0.0	-12.5
柔軟性	12.5	2.5	-10.0
状況把握力	7.5	5.0	-2.5
規律性	10.0	5.0	-5.0
ストレスコントロール力	20.0	2.5	-17.5
好奇心	12.5	5.0	-7.5
持続力	20.0	7.5	-12.5
楽観性	25.0	5.0	-20.0
リスクテイキング	27.5	5.0	-22.5
自分に対する自信	45.0	5.0	-40.0





	加重平均値		
	受講前E	受講後F	差(F-E)
主体性	0.20	1.25	1.05
働きかけ力	0.05	0.95	0.90
実行力	0.18	1.28	1.10
課題発見力	0.10	0.88	0.78
計画力	-0.10	0.85	0.95
創造力	0.08	0.85	0.78
発信力	-0.03	0.90	0.93
傾聴力	0.28	1.10	0.83
柔軟性	0.33	0.90	0.58
状況把握力	0.45	0.78	0.33
規律性	0.60	1.05	0.45
ストレスコントロール力	0.15	0.83	0.68
好奇心	0.63	1.08	0.45
持続力	0.15	0.90	0.75
楽観性	0.15	1.03	0.88
リスクテイキング	0.03	1.00	0.98
自分に対する自信	-0.35	0.83	1.18

#### (4) 企業現場教育



## 訪問企業 一覧 (平成30年度)

## 工学部

No	対象学科	訪問先	掲載ページ
1	都市建設工学科	東海環状自動車道 高架橋 PC 上部工事 (昭和コンクリート工業(株))	61
2	応用化学科	三甲(株)本社研究工場	62
3	電気電子システム工学科 電気システム工学科	大王製紙(株)可児工場	63
4	電子情報工学科 電気電子システム工学科	太陽社電気(株)瑞浪工場	64
5	建築学科	後藤木材	65
6	建築学科	八洲コンクリート(株)多治見工場	66
7	機械工学科	岐阜プラスチック工業(株)	67
8	創造理工学実験教育科 創造エネルギー理工学専攻	核融合科学研究所	68
9	電気電子システム工学科 電気システム工学科	三菱電機(株)中津川製作所	69

## 経営情報学部

No	対象学科	訪問先	掲載ページ
1	経営総合学科	(株)オンダ製作所	70

## 人文学部

No	対象学科	訪問先	掲載ページ
1	コミュニケーション学科	岐阜放送、岐阜新聞	71

## 応用生物学部

No	対象学科	訪問先	掲載ページ
1	食品栄養科学科	ひだホテルプラザ	72
2	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科	(株)サラダコスモノ中津川サラダ農園、ちこり村	73
3	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科	JAPAN TESTING LABORATORIES キッコーマンソイフーズ(株)岐阜工場	74
4	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科	(株)秋田屋本店 洞戸工場	75
5	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科	岐阜プラスチック工業(株)生産本部 エーザイ(株)川島工場	76
6	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科	EW Nutrition Japan 岐阜免疫研究所 (株)岐阜セラツク製造所	77
7	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科	アピ(株)池田工場	78
8	応用生物化学科 環境生物科学科 食品栄養科学科	天野エンザイム(株)岐阜研究所	79

## 2. 活動報告<学内プログラム>


### 生命健康科学部

No	対象学科	訪問先	掲載ページ
1	スポーツ保健医療学科 生命医科学科	(株)今仙技術研究所	80



### 現代教育学部

No	対象学科	訪問先	掲載ページ
1	歴史地理学科 現代教育学科	(株)文溪堂	81



## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 7月 31日 ( 火 )		
訪問先企業名	東海環状自動車道、高架橋 PC 上部工事 (昭和コンクリート工業株式会社)		
参加者	工学部 都市建設工学科 2、3年生	参加人数	45名 (うち引率 3名)
引率者氏名	磯部 友彦 (工学部 都市建設工学科 教授) 武田 誠 (工学部 都市建設工学科 教授) 伊藤 睦 (工学部 都市建設工学科 准教授)		
内容	<p>東海環状自動車道事業による東海地域(特に岐阜県)発展への影響を学修するとともに、施工中の安全管理(リスク管理)について学修することを目的として、昭和コンクリート工業株式会社が施工する平成 29 年度 東海環状神戸第 1 高架橋 PC 上部工事現場の見学を行った。</p> <p>岐阜国道事務所からの説明により、東海環状自動車道建設工事の概要および意義を学び、施工会社からの説明と見学により、施工工程や安全管理、具体的な工事内容等を学んだ。現場関係者との対話や質疑応答により、参加学生は、高速道路建設の意義や施工における現場監督者の役割などに関する知識を深められたと考える。</p>		
			

## 企業現場教育 報告書



実施日	2018年 9月 7日 ( 金 )		
訪問先企業名	三甲株式会社 本社研究工場		
参加者	工学部 応用化学科 3、4年生	参加人数	42名 (うち引率 2名)
引率者氏名	藪内 一博 (工学部 応用化学科 准教授) 饒村 修 (工学部 応用化学科 准教授)		
内容	<p>午前9時5分に大学を出発、神領駅を経由して10時45分に現地に到着した。11時より約30分間、会議室において会社概要や製品に関する説明を受けた。その後、食堂で昼食を頂き、12時過ぎより2班に分かれ、工場およびショールームの見学を行った。</p> <p>工場では、物流で使用するパレットなどの製造に用いる射出成形の説明、製造工程を管理する生産管理室の見学、射出成形機の見学、成形されたパレットなどに文字の印刷等を行う2次加工の現場を見学した。ショールームでは、各製品の説明や開発にまつわるエピソード等を聞いた。</p> <p>見学後、会議室に戻り、13時半頃から質疑応答を行った。製品に関するものから、採用活動、企業の方針など幅広く質問が出た。14時10分頃見学終了。</p> <p>14時15分、現地を出発し、神領駅経由で15時30分頃大学に帰着した。</p>		
			
	見学写真		集合写真

## 企業現場教育 報告書



実施日	2018年 9月 13日 ( 木 )		
訪問先企業名	大王製紙株式会社 可児工場		
参加者	工学部 電気システム工学科 3年生、 修士 1、2年生	参加人数	14名 (うち引率 2名)
引率者氏名	廣塚 功 (工学部 電気システム工学科 教授) 松本 純 (工学部 電気システム工学科 助教)		
内容	<p>大王製紙株式会社 可児工場において、機器のメンテナンスなどを行っている掲題の会社見学を行った。</p> <p>可児工場においては様々な紙製品をチップ (木片) から出荷状態に至るまでの一貫生産を行っており、今回はトイレットペーパーおよびティッシュペーパーの製造工程を見学した。製紙機は非常に大きく、また、原紙ローラーは直径 2m、重量 10 t 以上であり、トイレットペーパーやティッシュペーパーの最終段階では 100m/分以上の高速で紙を流している。</p> <p>また、製紙状況によっては紙の粉塵が工場内を舞っており、火気厳禁であることはもちろん、床に溜まった紙片での転倒などの危険がある。</p> <p>従って、その取扱いや機器メンテナンスにおいては十分なリスク管理が行われ、無災害 300 日以上の実践などに関する説明を受けた。また、大容量かつ高速な機器のメンテナンスでの注意点などを知ることができ、見学者一同大変有益であった。</p>		
			
	見学写真		集合写真



## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 9月 13日 ( 木 )		
訪問先企業名	太陽社電気株式会社 瑞浪工場		
参加者	工学部 電子情報工学科 2、3、4年生 工学部 電気電子システム工学科 1年生 工学研究科 電気電子工学専攻 2年生 応用生物科学部 食品栄養科学科 4年生	参加人数	17名 (うち引率 1名)
引率者氏名	内田 秀雄 (工学部 電気電子システム工学科 准教授)		
内容	<p>はじめに、会社概要を総務部の方から、製品の製造方法と見学する工程については第一製造部の方から説明があった。</p> <p>その後、3フロアに設定している製造工場を2班に分かれて見学を行った。見学の際は、品質保持のためにマスクと帽子の着用を求められ、人から出る不純物が品質管理上非常に大きな影響を与えることを学んだ。</p> <p>瑞浪工場では電極印刷、抵抗印刷、カバーコート印刷、トリミング、洗浄、印刷の各工程とそれらの外観検査を行っている。</p> <p>各工程では、学生たちはその微細な製品づくりに感心するとともに、1mm以下の大きさの中に非常に多くのノウハウが詰まっていることを感じ取っている様子であった。</p> <p>自動車の部品の一端を担うことになるこれらの部品により人の命に関わる不具合を生じさせないというプロ意識の中で生産活動を行っていることが感じ取られた。</p> <p>見学の後、質疑応答に入り、案内していただいた製造部の方と総務部の方に社員として働くことや事業内容についてなど、10件を超える質問で予定していた時間を超えて活発に行われた。</p>		
	 		

## 企業現場教育 報告書



実施日	2018年 9月 13日 ( 木 )		
企画名	後藤木材と各務ヶ原の建築		
参加者	工学部 建築学科 1～4年生	参加人数	30名 (うち引率 1名)
引率者氏名	豊田 洋一 (工学部 建築学科 教授)		
内容	<p>後藤木材 (岐阜県各務原市) の工場見学</p> <p>会社説明</p> <p>プレカット工場の見学 (工場長よりプレカット工場の工程の説明を受けた後、工程に従って工場を見学)</p> <p>パネル工場の見学 (工場長より安全管理等の説明を受けた後、ツーバイフォーのパネル製作工程を見学)</p> <p>各務原の建築の見学</p> <p>工場を見学後、各務原市内の下記の建築を、新旧取り混ぜて見学</p> <p>■テクノプラザ (VR技術等最先端の研究開発拠点)</p> <p>科学技術振興センター所長より説明を受け、リチャード・ロジャース設計のテクノプラザ本館とその周辺建築を見学</p> <p>■村国座 (国重要有形民俗文化財)</p> <p>各務原市歴史民俗資料館館長より説明を受け、建築を見学</p> <p>■瞑想の森 (火葬場)</p> <p>見学不可のため、車内より見学</p> <p>■ごんぼ積み (各務原市重点風景地区)</p> <p>バス内で重点風景地区と風景形成基準について説明した後、地区を見学</p>		
	 		

企業現場教育 報告書

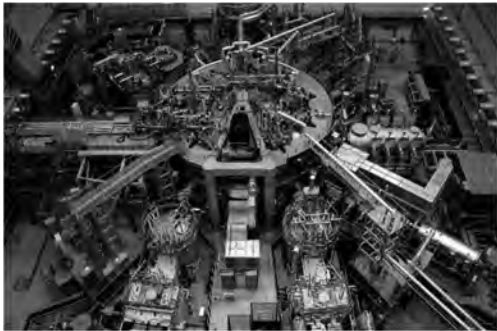

実施日	2018年 10月 16日 ( 火 )		
訪問先企業名	八洲コンクリート株式会社 多治見工場		
参加者所属・学年	工学部 建築学科 3年生	参加人数	35名 (うち引率 1名)
引率者氏名	橋田 浩 (工学部 建築学科 教授)		
内 容	<p>■概要説明およびコンクリート試験練り立合い</p> <p>工場長から多治見工場の概要説明をして頂いた後、2種類のコンクリートの試験練りに立ち会った。一連の試験練り作業を理解するとともに、普通強度およびタワーマンション工事で使用される超高強度コンクリートの練り上がり状態の違いを体感した。この時採取した試験体は後日大学で強度試験を行う予定である。</p> <p>■生コンクリート製造設備の見学</p> <p>今後の工事に備えて多治見工場が導入した大型ミキサやその操作室を見学した。1回で5m<sup>3</sup>(通常の2倍)の生コンクリートを練ることができるミキサの巨大回転翼に参加者は一様に驚いた様子だった。各所で装置や生コンクリート製造に関する質疑応答があった。</p>		



## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 11月 19日 ( 金 )		
訪問先企業名	岐阜プラスチック工業株式会社		
参加者	工学部 機械工学科3年生、4年生、 修士1年生	参加人数	24名(うち 引率1名)
引率者氏名	鈴木 浩文 (工学部 機械工学科 教授)		
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ物流産業資材の技術的説明があった。</li> <li>・エコ、環境に配慮した製品開発で社会に貢献するための活動(研究開発)についての説明があった。</li> <li>・マテリアルリサイクル(22%)、ケミカルリサイクル(4%)、サーマルリサイクル(54%)について社内のCO<sub>2</sub>削減の実施例の説明があり、CO<sub>2</sub>削減のための取組みが十分に行われている優良企業であることがわかった。</li> <li>・製造現場におけるリスク予防管理に関する企業としての説明があった。</li> <li>・軽量、硬い、複合化可能、二次加工性、衝撃・吸音性の高いテクセル事業について、技術、特許、拡大活動について説明があった。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="margin-top: 20px;">アジェンダ</p> <p>13:00 生産本部(各務原市)工場 到着</p> <p>13:00-13:45 あいさつ、会社概略説明(会社概要・業務内容等)</p> <p>13:45-14:30 生産本部(各務原市)工場見学</p> <p>14:30-15:15 休憩・バスでテクセル事業所(揖斐郡大野町)へ移動</p> <p>15:15-16:00 テクセル事業所説明、地域・活性化の取組みの説明</p> <p>16:00-16:30 テクセル事業所(揖斐郡大野町)工場見学</p> <p>16:30-17:00 質疑応答・まとめ、締めあいさつ</p>		


企業現場教育 報告書

実施日	2018年 12月 10日（月曜日）		
訪問先企業名	自然科学研究機構 核融合科学研究所		
参加者所属・学年	工学部 創造エネルギー理工学専攻 修士1年生	参加人数	15名（うち引率 1名）
引率者氏名	廣岡 慶彦（大学院工学研究科 創造エネルギー理工学専攻・教授）		
内容	<p>2018年12月10日、午前中（3・4時限目）に上記研究所の所長が工学研究科講演会で核融合全般および核融合科学研究所について講演し、その同じ午後、大学院工学研究科の「原子力工学特別講義」の学外実習として受講生と共にマイクロバスで、1時半頃中部大（三浦幸平メモリアルホール前）を出発して岐阜県土岐市にある核融合科学研究所を訪問、大型ヘリカル装置（LHD）及び炉工学研究施設を見学した。</p> <p>運良くLHDが運転中ではなかったため、放射線管理区域にある本体棟にも入る事が出来、LHD本体を見る事が出来た事は、核融合施設のスケールを理解する上で参加した大学院生にとって貴重な体験であったと思われる。</p> <p>同研究所を午後4時半ころ出発し、途中、神領駅で一旦停車してから5時過ぎに三浦幸平メモリアルホール前に帰着した。</p>		
			
	LHD装置（鳥瞰図）		本体棟での記念撮影


## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 12月 25日 ( 火 )		
訪問先企業名	三菱電機株式会社 中津川製作所		
参加者	ED、EE、EM、FT、NA 1～3年生 博士2年生、修士1年生	参加人数	19名 (うち引率 4名)
引率者氏名	廣塚 功 (工学部 電気電子システム工学科 教授) 中村 雅憲 (工学部 電気電子システム工学科 教授) 松本 純 (工学部 電気電子システム工学科 助教) 丹羽 ゆかり (研究推進事務部 COC 推進課 課長)		
内容	<p>掲題の会社にて、換気扇組み立て工場および環境配慮型商品の体験・体感型展示場 EarthE の見学並びに技術説明を受けた。</p> <p>工場では、大量生産ではあるが、自動化と人の手による作業とが合理的に融合した生産工程を見学できた。特に、作業員の安全への配慮と高品質・高速製造とのバランスが取れていた。EarthE においては、三菱シデンキ全体としての環境配慮への取り組みや、具体的な商品への反映方法などについて、製品開発技術者らからの説明もあった。</p> <p>総じて、COC プラスの現場見学の趣旨に合致した見学会であった。</p> 		

## 企業現場教育 報告書





実施日	2018年 9月 12日 (水)		
訪問先企業名	株式会社 オンダ製作所		
参加者	経営情報学部 経営総合学科 1年生	参加人数	38名 (うち引率 3名)
引率者氏名	澤村 隆秀 (経営情報学部 経営総合学科 教授) 山口 直樹 (経営情報学部 経営総合学科 教授) 趙 偉 (経営情報学部 経営総合学科 教授)		
内容	<p>到着後、本部会議室にて会社の概要説明が行われた。</p> <p>その後2グループに分かれ各部署を見学させていただき、各部署で説明が行われた。</p> <p>最後の見学先で総括と質疑がなされた。</p> <p>1年生ではあったが、積極的に質問をしていた。</p> <p>オンダ製作所は水道の配管を製造・販売する企業であり、それらの具体的な内容やインフラの大切さ、競合企業の実情等を含めて説明をいただいたうえでの見学であったので、大変充実したものであった。</p> <p>殆どの学生がこうした企業見学は初めてということもあり、企業の現場を真剣に見ていた。社員の方が、見学中、業務内容や製造工程の特色などを詳細に説明していただいたので学生はかなり理解できたと思われる。</p>		
			

## 企業現場教育 報告書


実施日	2018年 9月 14日 ( 金 )		
訪問先企業名	岐阜放送、岐阜新聞		
参加者	人文学部 コミュニケーション学科1～3年生	参加人数	16名 (うち引率1名)
引率者氏名	三摩 真己 (人文学部 コミュニケーション学科 教授)		
内容	<p>午前中、岐阜放送を訪問。番組制作現場、報道現場の見学と質疑を行う。</p> <p>午後は岐阜新聞を訪問。報道部、整理部を訪ね地元と密着した地方紙の取材。編集方針を伺うとともに、正確な情報を収集するためには何が必要なのかについて説明を受けた。また時間とともに新たな情報が次々と寄せられた場合に、どのように記事を差し替え、紙面を造り替えていくのかについて説明を受けた。</p> <p>質疑応答では、遊軍記者が質問を受け付けてくれた。学生が「これまでで最もつらい取材は何だったのか」と尋ねたのに対し、記者は「事件の犠牲者の遺族にインタビューするのが最も大変だったが、伝える使命があると考え、感情を殺して取材を続けた」などと答えていた。また正確な情報を提供するために必要なことは何かという質問に対し、岐阜新聞側からは、多くの入手できる情報を比較検討する事、また、現場を訪ね、自らの目で確認することが重要であるとの返答を頂いた。</p>		
			





企業現場教育 報告書

実施日	2018年 9月 7日 ( 金 )		
訪問先企業名	ひだホテルプラザ		
参加者	応用生物学部 食品栄養科学科 1、2年生	参加人数	82名 (うち引率 2名)
引率者氏名	小川 宣子 (応用生物学部 食品栄養科学科 教授) 小林 由実 (応用生物学部 食品栄養科学科 助手)		
内容	<p>1. ひだホテルプラザ取締役会長から以下の内容について講義を受け、質疑応答を行った。</p> <p>1) ホテルにおけるリスク管理について</p> <p>①ホテル産業界において地域活性化に向けて観光客に対して、高山の文化や特産物を活かしてどのような取り組みをしているのか。</p> <p>②衛生面や災害に対してどのようなリスク管理を行っているのか</p> <p>2. ひだホテルの館内見学により、講義の中ででてきた内容を実際に確認することができた。</p> <p>①機械室の見学：災害時の対策 (自家発電など)</p> <p>②客室の見学：バリアフリー</p> <p>③浴室の見学：衛生面</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		


## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 9月 7日 ( 金 )		
訪問先企業名	株式会社 サラダコスモ／中津川サラダ農園、ちこり村		
参加者所属・学年	応用生物学部 FR、FS、FT 2、3年生	参加人数	15名 (うち引率 1名)
引率者氏名	森山 昭彦 (応用生物学部 環境生物科学科 教授)		
内容	<p>株式会社サラダコスモのグループ企業の一つでスプラウトを生産している中津川サラダ農園を見学した。敷地は綺麗に管理された芝生で気持ちの良い所である。</p> <p>ここは、サラダコスモの年間売上 120 億円のおよそ 30%を生産しているスプラウト生産工場である。食の安全に関心の高い会社であり、恵那峡の温泉水とモンゴルの天然塩を使用し、種まきの容器底に敷くシートは可食性の自社開発したものとのことであった。生産ラインはコンベアによりかなり自動化されているため少数の社員で管理でき、パート社員の多くは箱詰め担当とのことでした。金属探知機の導入や、糸くずの出ない作業着など、異物混入には非常に気を使っているとの説明もあった。</p> <p>本学部の卒業生である社員の方が説明をしてくださったので、質問しやすい雰囲気であり、スプラウトの種類による栄養の違いについての質問や、温度管理についてなど、広範な質問があり、予定時間を 30 分ほどオーバーした。就職に向けてのアドバイスもくださり、食品関係の会社に興味のある学生には参考になったのではないだろうか。引き続き、バスで 10 分ほど移動して、サラダコスモの直営販売店である「ちこり村」でチコリの生産ラインを見学させていただいた。</p>		
			



## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 9月 10日 ( 月 )		
訪問先企業名	JAPAN TESTING LABORATORIES 岐阜工場、キッコーマンソイフーズ株式会社 岐阜工場		
参加者所属・学年	応用生物学部 FR、FS、FT 3年生	参加人数	13名 (うち引率 1名)
引率者氏名	三島 敏 (応用生物学部 食品栄養科学科 教授)		
内容	<p><b>&lt;JAPAN TESTING LABORATORIES 岐阜工場&gt;</b></p> <p>企業からの新製品試作にともなう計測、測定及び分析や、時に開発へのアドバイスも行うニッチ分野での数少ない会社である。会社概要、理念の後、各機器での説明を受けた。主体はトヨタや航空機産業、金属など東海エリアに集中している顧客であるが、最近ではライフサイエンス分野の分析も開始した。本学からの卒業生も数名おり、また1日インターンシップ開催、会社説明会など本学からの採用に意欲的である。</p> <p>学生にとり分析は一つの魅力的職種であり、全員興味深く見学していた。</p> <p><b>&lt;キッコーマンソイフーズ株式会社 岐阜工場&gt;</b></p> <p>30年以上豆乳作りをリードしているトップメーカーである。原料調達、抽出、遠心分離、調合、充填の各工程を現場で見学した。安全が徹底されており、随所にミス防止の機械化が採用され、また衛生面でもエアーシャワー、滅菌等FSSC22000、OHS18001、ISO14001の厳しい国際認証規格を取得している。見学後、学生から多くの質問があり会社を十分に理解できたようである。採用についての質問もあり、学生側も興味を持ったようであった。</p>		
	 		


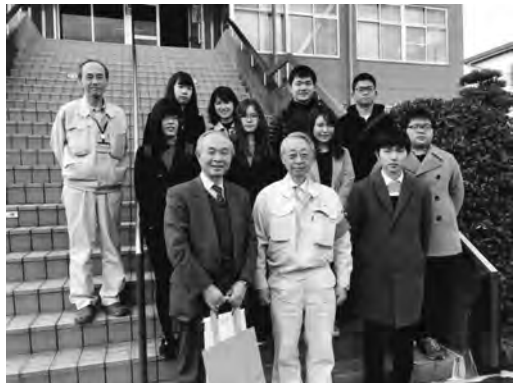
## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 9月 11日 ( 火 )		
訪問先企業名	株式会社 秋田屋本店		
参加者	応用生物学部 FR、FS、FT 2・3年生	参加人数	8名 (うち引率 1名)
引率者氏名	前野 善孝 (応用生物学部 食品栄養科学科 教授)		
内容	<p>工場に予定通り 13 時 30 分に到着した。</p> <p>会議室に向い、統轄次長様よりご挨拶と秋田屋本店と洞戸工場での製品(inゼリー)製造過程の説明を受けた。</p> <p>その後、説明して頂きながら稼働中の工場内を見学した。</p> <p>学生は説明を熱心に聞き、質問をしていた。</p> <p>また、見学終了後に設けて頂いた全体の質疑応答の場でも積極的に質問をしていた。</p> <p>ただ、秋田屋本来のはちみつを扱った商品の製造工場ではなかったため、一部の学生には、残念であった。工場の建物前で記念撮影をしてほぼ予定通り帰路についた。</p>		
			



企業現場教育 報告書

実施日	2018年 9月 11日 (火)		
訪問先企業名	岐阜プラスチック工業株式会社 生産本部、エーザイ株式会社 川島工園		
参加者所属・学年	応用生物学部 FR、FS、FT 3年生	参加人数	11名 (うち引率 1名)
引率者氏名	松本 吉博 (応用生物学部 応用生物化学科 教授)		
内容	<p>&lt;岐阜プラスチック工業株式会社&gt;</p> <p>同社の沿革と業績、「リスのプラスチック」グループを構成する各社（岐阜プラスチック工業もそのひとつである）とその主要製品、生産におけるリサイクルの方針、新素材の「TECCELL」や「バイオプラスチック」製品などについて、30分にわたる説明を受けた。グループ全体で中部大のOBが33名働いていること、大卒者は製造現場ではなく主に開発や管理などの職場に配属されることなども説明された。その後、製品展示室において各製品を直接手に取ってその性能などを確認する機会を持ってから、2つのグループに分かれて工場内を見学した。主力製品を射出成型する現場、製品に印字する工程、商品として梱包する段階などを間近で見ることができた。工場内は安全のためつば付きの帽子の着用が義務づけられており、大学から持参した食品衛生用の帽子は不適切であったため、同社から見学者につば付き帽を貸与された。工場見学後、会議室に戻り、質疑応答として主にリスクの管理や予防についていくつかの質問に答えていただいた。</p> <p>&lt;エーザイ株式会社 川島工園&gt;</p> <p>隣接した内藤記念くすり博物館に移動し、付属薬用植物園にて昼食休憩してから各自博物館内を見学した。その後、博物館案内の方の誘導・解説により、エーザイの調剤工場内で、原料の混合、カプセルへの充填、錠剤として打錠、印字などのほぼ自動化された各工程を見学した。この工場では、医療用医薬品と市販の医薬品のどちらも製造されており、それらは地下道を通じて工園内の別の工場に送られ、そこで包装されて製品となることなど、医薬品の製造のおおまかなプロセスが概説された。その後、工場外の日本庭園を散策し、その中の池の水が工場からの廃水を浄化したもので鯉の成育にも全く問題ないことなどの説明を受けた。</p>		
			



## 企業現場教育 報告書

実施日	2019年 2月 13日 ( 水 )		
訪問先企業名	(株)EW Nutrition Japan 岐阜免疫研究所、(株)岐阜セラツク製造所		
参加者	応用生物学部 FR、FS、FT 2・3年生	参加人数	10名 (うち引率 1名)
引率者氏名	大塚 健三 (応用生物学部 環境生物科学科 教授)		
内 容	<p>&lt; (株) EW Nutrition Japan 岐阜免疫研究所 &gt;</p> <p>ニワトリの卵で生成される抗体(鶏卵抗体)を利用して、人や家畜などの消化管に感染する病原菌を攻撃して健康を維持することを目的として研究開発を行なっている。実際には、口腔内の虫歯菌、胃のピロリ菌、腸管のロタウィルスやノロウィルスに対する鶏卵抗体を作製し、人の場合はさまざまな食品、動物の場合は餌に混ぜて摂取させている。一般にはあまり知られていないが、鶏卵抗体の需要はかなりあり、世界的な展開もしている。</p> <p>なお、会社は人里離れた山間の地に研究所と製造工場があり、もし取り扱っている病原菌が拡散しても大きな被害が出ないように工夫を凝らしているようである。</p> <p>&lt; (株) 岐阜セラツク製造所 &gt;</p> <p>この会社もあまり世間的には知られていないが、この会社の製品がさまざまな私たちの身の回りの道具(車やスマホなど)や、食品、医薬品、サプリメントのコーティング剤として幅広く使われている。「セラック」とは小さなラックカイガラ虫の分泌する天然樹脂のことで、この会社はその研究、製造、販売からスタートしている。</p> <p>有機溶媒などを多く扱う化学工場なので、火災の発生というリスクを極力軽減するための対策を取っている。</p> <p>また女性の従業員も多く女性の働きやすい環境が整っている。</p> <p>応用生物学部卒の社員も6-7名いるという。</p> <p>この2社とも、いずれも丁寧なもてなしをしていただいた。 参加した学生から質問も多く出て、有意義な機会だった。</p>		
			

企業現場教育 報告書



<p>実施日</p>	<p>2019年 2月 14日 ( 木 )</p>		
<p>訪問先企業名</p>	<p>アピ(株)池田工場</p>		
<p>参加者</p>	<p>応用生物学部 FR、FS、FT 2・3年生</p>	<p>参加人数</p>	<p>22名 (うち引率 1名)</p>
<p>引率者氏名</p>	<p>吉村 和也 (応用生物学部 食品栄養科学科 准教授)</p>		
<p>内 容</p>	<p>アピ株式会社 池田工場到着後、まずセミナールームにて総務部 人事課の方から、本日の内容や会社の概要の説明があり、会社の概要案内のビデオを視聴した(15分)。</p> <p>その後、生産本部 池田工場 工場長様よりアピ株式会社が保有する複数の工場の役割と、池田工場に関する簡単な説明の後、工場内を見学させていただきました。</p> <p>池田工場は、様々な会社の OEM 製品の生産が主な業務であり、具体的には健康食品やサプリメントとしてのドリンクや錠剤、カプセルなどの製造過程や、製造後の品質検査を見学した(45分)。</p> <p>特に、池田工場では品質検査は高速カメラなどの機械による検査と、ヒトの目による検査を使い分けており、それぞれの長所短所を説明していただいた。</p> <p>最後に、セミナールームにて来年度の新規採用に関わるイベントの情報をいただいた後に、学生からの質疑応答に対応していただいた(30分)。</p> <p>質疑応答では、学生が活発に質問していた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		

## 企業現場教育 報告書

実施日	2019年 2月 19日 ( 火 )		
訪問先企業名	天野エンザイム(株)岐阜研究所		
参加者	応用生物学部 FR、FS、FT 1・2・3年生	参加人数	26名 (うち引率 1名)
引率者氏名	甲田 道子 (応用生物学部 食品栄養科学科 准教授)		
内容	<p>12時50分に天野エンザイム(株)岐阜研究所に到着した。 研究所は「自然との共生」をコンセプトとした洗練された建物で、見ているだけでも楽しい。</p> <p>13時～30分 酵素に関する解説(DVD)、酵素の役割から未来への構想まで網羅されていて、学部1年生にとってもわかりやすい内容であった。</p> <p>13時30分～45分 会社および研究所についての説明。微生物から酵素を作っている会社で、その社訓は「無から有を創る」。</p> <p>13時45分～14時30分 3班に分かれて所内を見学、各班に研究員が1人ついて案内をしてくれた。</p> <p>酵素は食品にも使われていることから、安全面など品質保証に厳しく、GMPに従ってリスク管理がなされているとのことだった。例えば、遺伝子操作を行っている部屋では菌が拡散しないように、ガラスで仕切られた設計になっていた。</p> <p>応用生物学部の授業や実験においても、微生物は身近な主体である。 今回は、とても有意義な企業現場教育であった。</p>		
			

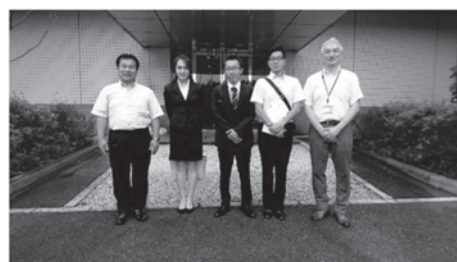


企業現場教育 報告書

<p>実施日</p>	<p>2018年 9月 13日 ( 木 )</p>		
<p>訪問先企業名</p>	<p>株式会社 今仙技術研究所</p>		
<p>参加者</p>	<p>生命健康科学部 生命医科学科 1・2・3 年生 スポーツ保健学科 3 年生</p>	<p>参加人数</p>	<p>18名 (うち引率 2名)</p>
<p>引率者氏名</p>	<p>青山 友佳 (臨地臨床実習推進部 臨床検査技術教育・実習センター 講師) 浦井 久子 (生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 助手)</p>		
<p>内 容</p>	<p>岐阜県各務原市にある、株式会社今仙技術研究所にて企業現場教育を行った。</p> <p>今仙技術研究所では、電動車いす・義足や義手・歩行補助装置の開発および製造を行っている。到着後、研究所についての説明を受け、2グループに分かれて、見学および電動車いす・歩行補助装置の体験を行った。</p> <p>日常的に使用する義足、パラリンピックに出場する選手が使用している義足、について説明を受けた。関節部分の構造や、競技に使用する義足の素材や形について学生から活発な質問があった。さらに、電動車いすの製作過程やメンテナンス現場の見学と説明を受けた。電動車いすは使用者に応じてのカスタマイズされていることや、体の血流を正すために体位変換が行えるなど、障害によって使用の範囲が違うことを知った。また、実際に、屋外にて電動車いすの操作を体験し、道路環境など障がい者を取り巻く環境を良くする必要性を学んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

## 企業現場教育 報告書

実施日	2018年 9月 14日 ( 金 )		
訪問先企業名	株式会社 文溪堂		
参加者	人文学部 歴史地理学科 1年生 現代教育学部 現代教育学科 3年生 修士2年生	参加人数	4名 (うち引率 1名)
引率者氏名	宮川 秀俊 (教育実習センター 教授)		
内容	<p>予定取り、午後1時30分より会社訪問を行った。まず、副参事様より、最初の挨拶と会社概要の紹介があった。</p> <p>続いて課長様より会社案内パンフレットを使用して、一方ではパワーポイントを呈示しながら、企業理念、図書教材、教材教具、市販図書、教育ソフト等の各商品についての詳細な説明があり、加えてCSRについての紹介があった(1番目の写真)。</p> <p>学生は拝聴しながらメモをし、また質問をして、積極的に参加していた。(2番目の写真)。</p> <p>その後、具体的な教材、教具を直接手にとって見て説明を受けた(3番目の写真)。</p> <p>その後、企画部、編集部、営業部、発送部等の見学ならびに同社の「記念資料館」の見学を行って、会社訪問を終了した。</p> <p>最後に「記念資料館」の前で、お世話になった方と記念撮影を行った(4番目の写真)。</p>		






## (5) フィールド活動@ぎふ



## フィールド活動@ぎふ 報告書

実施日	2018年 9月 10日 ( 月 )		
訪問先企業名	JAひだ高山営農センター、橋場農園、高山市街地		
参加者	食品栄養科学科管理栄養科学専攻 1・2年生	参加人数	19名 (うち引率 1名)
引率者氏名	小川 宣子 (応用生物学部 食品栄養科学科 教授)		
内容	<p>1) 高山市の農業の現状と課題を理解する。</p> <p>①講義：学生が高山市の課題を考え、その課題解決を考えるために、高山市役所では、高山市農務課長様より高山市の農業の現状と課題についてお話をお聞きしました。</p> <p>②現場見学：高山市の農業の実態についてトマトとしいたけを生産している橋場農園の代表より農場の取り組みについてお話をいただきました。</p> <p>トマトとしいたけの圃場見学およびトマトの加工工場の見学と試食を行い、生産者の生産への取り組みについてお話をいただきました。</p> <p>2) 高山市の文化を理解する。</p> <p>①講義：高山の町の成り立ちについて本学森瀬一幸客員教授からの講義を聴講。</p> <p>②高山市街地見学：高山市の生活の背景にある文化を体験するため、城山～二の丸～図書館を見学しました。</p> <p>3) 高山市の課題と解決方法について学生がそれぞれ提案した内容を高山市農務課に提出。</p> <p>管理栄養科学専攻で学ぶことの強みとして、食材の栄養および調理加工の特性を熟知した上で、その食材を利用した加工品や料理の提案ができることです。地域の農産物を有効に利用することで豊かで健康な食生活を過ごすことができます。また、地域の特産物の六次産業化に向け取り組んでいる現場を見学し、生産者の声を聴くことで、大学生として、社会人として地域活性化に向け、自分達に何ができるかを考えるきっかけとなりました。</p>		
			

フィールド活動@ぎふ 報告書

実施日	2018年 12月 1日（土）～ 2日（日）		
関係先企業名	土岐川・庄内川 森の健康診断実行委員会(市民団体)		
参加者	応用生物学部 2・3・4年生 工学部 2年生 人文学部 2・3年生 生命健康科学部 3年生	参加人数	43名（うち引率 3名）
引率者氏名	上野 薫（応用生物学部 環境生物科学科 准教授） 余川 弘至（工学部 都市建設工学科 講師） 墨 泰孝（応用生物学部 応用生物化学科 助教）		
内容	<p>                     ■開催場所：中部大学恵那研修センター                      ■スケジュール                      1日目                      10：00 恵那研修センター集合、趣旨説明                      10：30 座学（前半：東濃ヒノキの現実と可能性                      後半：アイスブレイク+森の健康診断目的と方法                      の説明）                      12：00 昼食                      13：00 恵那キャンパス内にてイノシシ痕の観                      察、人工林の観察・調査                      15：30 恵那研修センター第4研修室でグルー                      プワーク 各チームでプロジェクト提案の作成                      開始                      18：00 夕食・風呂                      19：00～23：00 グループワーク(終了班から就寝)                      2日目                      7：30 朝食、部屋掃除、チェックアウト                      8：30 発表準備                      9：30 学生発表会                      11：00 評価、意見交換会（市民10名ほか）                      12：30 三郷コミュニティセンターにて昼食、                      学生交流                      13：30 東濃牧場付近にて間伐体験（野井山造                      りの会）                      15：30 閉会、解散（1月中にレポート提出）                 </p>		



以上のスケジュールにて、プログラムを実施。  
岐阜県の農林担当者や地元三郷町役場の担当者、地元および下流域の地域活性化キーマンらとの発表会での意見交流や間伐体験実施等による現場での問題の理解・共有により、解決のために地元がどれくらい必死なのか、何がハードルになっているのかなど、生の現地の状況を実感した。



これにより、地域の課題解決に向けて何が重要なのかを、参加学生は感じていたようである。短期決戦型ではあったが、グループ単位での行動や濃厚なワーク実施により、コンセンサス力、問題把握力、情報収集力、コミュニケーション力も向上されたと思われる。今回は、グループ内に複数の学科や様々な学年がおり、さらに昨年度メディアエーター取得者3名が本年度のリーダーを務めるなど、バランスのとれた人員構成になっていたこと、引率教員も3学科からの構成であったことも、学生の前向きな学びに貢献していたと思われる。





## (6) 地域活性型インターンシップ



## COC+多治見市ビジネスフェア「き」業展で体験！ 【インターンシップ参加学生募集】

岐阜県における若者の地元定着率を上げることを目的として、岐阜県内の企業と大学生との接点増加を試み、産業界ニーズにより適合した人材を育成する教育プログラムを各大学において実施しております。

その一環として、岐阜県多治見市が開催しているビジネスフェア「き」業展とコラボレーションし、インターンシップを行います。このプログラムでは、「き」業展を発表の舞台として、地域の企業とともに、出展ブースを作り上げていきます。魅力ある就職先の創出と地域が求める人材を養成する機会として、学生、企業ともに成長する場を目指しています。自分の能力を磨いて、今後のキャリアの選択肢を広げましょう。



### 【募集概要】

実務内容／参加企業において、「き」業展 (<http://kigyouten.com/>)

の出展準備及び当日【平成31年2月1日（金）、2日（土）】のアテンド

実施期間／①出展準備【インターン先決定～2月当日までの5回程度（1回@2～3時間）】

初回は多治見市職員が同席し、インターンの内容及びスケジュールを決定します。

②アテンド【平成31年2月1日（金）、2日（土）】

旅 費／大学から最寄駅までの旅費支給 ※最寄駅からは企業による送迎を実施。

賃 金／原則賃金はありません。

参加企業及び募集人員／別紙参加企業リストを参照

※申込締切：平成30年（2018年）11月14日（水）

### 【申込み用紙】

申請書を記入し、中部大学COC推進課（16号館3階）へ提出ください。

内容をメール（[plus@office.chubu.ac.jp](mailto:plus@office.chubu.ac.jp)）に記載し、申込みいただいても構いません。

氏名		性別		学年	
学籍番号		学部			
携帯電話		メール アドレス			
希望企業	第一希望／		第二希望／		
	第三希望／		※参加企業リストから選択してください。		

<インターンシップ担当>

〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 多治見市役所経済部 産業観光課

電 話：0572-22-1252（直通）／FAX：0572-25-3400

2. 活動報告<学内プログラム>

第16回参加企業リスト

募集人員	会社情報	ホームページ	業種	事業概要
2名	会社名/(株)エネファント 住所/岐阜県多治見市下沢町3-35-1 電話/0572-26-9336	<a href="http://enenfant.co.jp/">http://enenfant.co.jp/</a>	電気エネルギー業	【私たちはこんな会社を目指しています!】 私たちの周りには、様々なエネルギーに満ちています。そのエネルギーをどのようにして私たちの生活に取り込むことができるのか、そんな事に興味を持つ会社です。 今現在進めている企業活動のメイン事業は太陽光発電です。まず、目の前のお客様に自給率の高いくらしに変わって頂くこと、それが世の中を変えていくことです。日々世の中を変えている実感を持ちながら、日々の業務を行っています。エネルギー自給率100%の世の中を目指しています。 
2名	会社名/(株)オザワモザイクワークス 住所/岐阜県多治見市笠原町986 電話/0572-43-2090	<a href="http://omw.co.jp/">http://omw.co.jp/</a>	タイル製造業	暮らし・街・社会にモザイクな彩りを 弊社は1969年創業以来、業界の専門分野のトップを目指して、モザイクタイルを作り続けて参りました。かつては戸建て住宅の水回り中心に使われてきたモザイクタイルでしたが、近年ではカラーとデザイン重視の商業施設にも採用されることが多くなり、業界にも常に変化が求められる時代となっています。そこで弊社では、モザイクタイルの新たなニーズ発掘を使命と考え、既存の用途以外に様々な生活シーンにおいて利用していただける商品の企画・開発に努めております。 
2名	会社名/(株)コミュニティタクシー 住所/岐阜県多治見市高田町8-99-3 電話/0572-20-1717	<a href="http://www.comitaku.com/">http://www.comitaku.com/</a>	旅客自動車運送業	平成27年度 中小企業庁「地域課題を解決する中小企業・NPO法人 100の取組」に選定!! 地域課題を事業によって解決する「ORSV(Creating and Realizing Shared Value)」コンセプトの元、高齢者にやさしい移動・生活サポート企業。 
2名	会社名/七瀬社 鈴木タイル店 住所/岐阜県多治見市高田町8-106 電話/0572-22-0388	<a href="http://nanavosha.com/">http://nanavosha.com/</a>	タイル製造販売業	七瀬社は多治見で三代続くタイルの老舗です。現在、新しい取り組みとして、タイルの役割である「装飾すること」をテーマにピアス、ブローチなどアクセサリをつくっています。 
2名	会社名/レクセント(株) 住所/岐阜県多治見市根本町1-66 電話/0572-20-1805	<a href="http://www.rexcent.com/">http://www.rexcent.com/</a>	情報通信業	【企業支援プラットフォーム GAIA (ガイア)】 企業の様々な課題を解決するクラウドシステムを開発、販売中。勤怠管理から、社内SNSなどをシステムに実装。今後展開予定の改善シェアコンテンツのスマホ、ウェブ画面のデザインや視認性、操作性などユーザーインターフェースなどの提案ができる学生さんと取り組みたいと思っています。 【製造業向けIoTシステム開発】 日本のものづくりに力を! 製造機械とインターネットをスマートフォンでつなぎ、管理コスト削減、機械トラブル低下など、費用対効果抜群のシステムの開発。 
2名	会社名/陶芸機材・陶芸体験 ボイスセラミックス 住所/岐阜県多治見市小泉町3-165 電話/0572-25-7267	<a href="http://www.voicetougei.com/">http://www.voicetougei.com/</a>	陶芸材料販売、陶芸体験業	陶芸用品を専門に展示販売しております。また個人向け、会社や、学校向けの陶芸体験も行ってまいります。初心者の方でも気軽に陶芸に触れることができる施設です。 
2名	会社名/多治見まちづくり株式会社 住所/岐阜県多治見市本町3丁目80番地 電話/0572-23-2636	<a href="http://tajimi-jinco.co.jp/">http://tajimi-jinco.co.jp/</a>	中心市街地活性化事業	多治見市の中心市街地の活性化を担う、まちづくり機関(TMO)として設立されました。多治見のまちなかを楽しく、快適に。空き店舗へ素敵なお店ができる。広場で楽しいイベントがある。もっと愛されるまちとなるように様々な事業に取り組んでいます。 
2名	会社名/C-POWERグループ 住所/岐阜県多治見市大正町1-4-2 コーポラスHIDA206 電話/0572-24-5187	<a href="http://www.c-power.jp/">http://www.c-power.jp/</a>	・デザイン事業 ・障害福祉サービス事業	中小企業の売上に貢献するための営業ツール: WEB作成、デザイン物、軽作業を実施しています。 また、障害のある方の就労支援、生活支援、相談支援を実施しています。 
2名	会社名/株式会社ワラケン 東濃営業所 住所/岐阜県多治見市下沢町三丁目17番地の3 (本社)名古屋南区南野三丁目265 電話/0572-25-7244 (本社)/052-611-5847	<a href="http://www.waraken.co.jp/">http://www.waraken.co.jp/</a>		多治見市周辺地域で家財、備品などが処分できず不良資産化する建物を、リサイクルショップ、一般廃棄物収集運搬事業者、不動産事業者を結んで、家屋、店舗の中を片付け、新たな物件として命を吹き込む活動をしています。これからは増え続ける空き家と片付けスタッフとして高齢者の雇用を活性化させる活動の輪を一緒に大きく広げませんか。 【事業スキーム】 成年後見、遺産相続、廃業などの手続きを手掛ける士業の方や物件処分の依頼を受けた不動産販売事業者より依頼を受け、所有者の死亡や施設入居、廃業などで不要となった建物を換金する際に家財、備品をリユース、リサイクル、焼却処分を組み合わせ、法律や条例に則った適正処分のコーディネートを行う。販売代金から処分費を充当できるので負担感が軽く促進しやすい。 【協業事業者】 国内リユース事業者、海外リユース事業者、マテリアルリサイクル事業者、各市町村許可一般廃棄物収集運搬事業者、家屋解体事業者、リフォーム事業者、不動産事業者 





## **(7) 地域活性化リーダーポスター発表&授与式**







文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+事業) (平成27年度採択)  
『岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成』

## 第3回 地域活性化リーダー ポスター発表会&授与式

日時：2019年3月5日(火曜日) 午後2時15分～午後2時50分

会場：中部大学 不言実行館 2階 スチューデント commons

14時15分～14時20分

**開会挨拶** 松尾 直規 (中部大学 研究戦略部門COC推進室長)

14時20分～14時40分 (20分間)

**学生によるポスター発表** (1人 8～10分)

\* 地域活性化リーダー候補学生 7名

14時40分～14時45分

**地域活性化リーダー認定証 授与式**

14時45分～14時50分

**閉会挨拶** 櫻井 誠 (中部大学 研究戦略部門COC推進室 副室長)

### ■学生によるポスター発表

NO	学科	年	氏名
1	食品栄養科学科	2	大鋸 千花
2	食品栄養科学科	2	垣内 美咲
3	食品栄養科学科	2	片岡 恵
4	食品栄養科学科	2	高木 真帆

NO	学科	年	氏名
5	食品栄養科学科	2	田口 説夏
6	コミュニケーション 学科	2	平井 直生
7	生命医科学科	3	久野 広喜

**\*\* 中部大学 研究推進事務局 COC推進課 \*\***

〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地

Tel: 0568-51-1763

[第3回 地域活性化リーダーポスター発表会&授与式]の様子 ～ 2019年3月5日(火)～



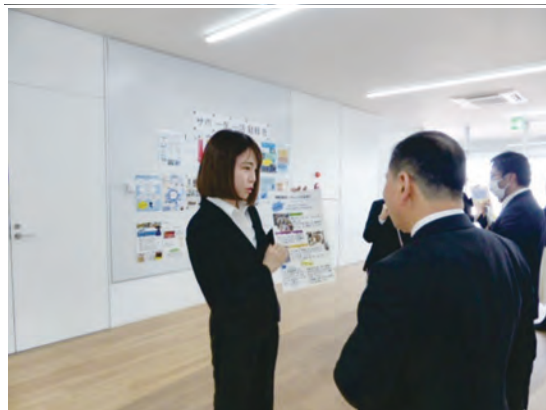
開会挨拶 松尾 直規  
(研究戦略部門 COC 推進室長)



学生によるポスター発表 1



学生によるポスター発表 2



学生によるポスター発表 3



資格認定授与式



資格認定授与式



ポスター発表学生合同記念撮影



閉会挨拶 櫻井 誠  
(研究戦略部門 COC 推進室 副室長)

### **3. 活 動 報 告**

#### **< 5 大学共通プログラム >**

##### **(1) サマースクール**



# サマースクール

2018  
9/4(火) 5(水) 6(木)

in中濃

## 伝統産業・文化の磨き上げ

ぎふCOC+事業推進コンソーシアムは、岐阜県における若者の地元定着率を上げることを目的として、岐阜県内の企業と大学生との接点増加を試み、産業界ニーズにより適合した人材を育成する教育プログラムを各大学において実施しております。その一環として、大学間共通のサマースクールを岐阜県中濃圏域で開催します。このプログラムでは、地域を支えている方々や他大学の学生と一緒に地域「将来」を考えていきます。地域の現状や地元企業の理解を深め、自分の能力を磨いて、今後のキャリアの選択肢を広げましょう。



### 関コース

刃物産業を盛り上げる  
新たな展開を提案

700有余年の伝統を持ち世界三大刃物都市として有名な岐阜県関市。現在も家庭用刃物50%のシェアを誇っているものの、海外企業との競争が激化し、近年では最盛期と比較すると売上げが大きく減少しています。今回は産業活性に効果が出始めている新たな取り組みを学び、関市の刃物産業を盛り上げる提案を考えます。



### 美濃コース

和紙と街並みから  
美濃市の発展を提案

「和紙とうだつのまち」岐阜県美濃市。日本を代表する伝統工芸品である本美濃和紙は、ユネスコ無形文化遺産「和紙と手漉き技術」に認定されています。近年、アートやクラフト素材としての活用も始まった和紙の製造現場と「うだつ」の上がる歴史ある街並みを訪ね、産業と文化・歴史・観光の観点から提案を考えます。



### 郡上コース

名水の町、水文化の  
新たな魅力展開を提案

清流と名水の城下町、郡上八幡。奥美濃から流れ出た3つの川が合流する地形に根付いた清流の文化は、環境省によって名水の町の指定を受けています。清らかな用水は、地域の生活に利用されるだけでなく、川魚も泳ぎます。豊かな水文化の魅力を再発見して活用している事例に学びながら、新たな魅力の展開を考えます。

※このサマースクールは、中部大学認定「地域活性化リーダー」資格取得に必須です。

参加費

9,000円

当日徴収します

(2泊分の宿泊費、朝食2回、昼食2回、夕食2回込)※1日目の昼食は各自負担です。

持ち物

洗面用具、着替え、筆記用具、健康保険証 (コピー可)

※宿泊先で購入できるものは飲み物のみです。  
タオル、シャンプー、ドライヤー等の備え付け備品はございませんので各自持参願います。

行程表

集合場所はJ R 岐阜駅・J R 金山駅・中部学院大学関キャンパスの3か所です。  
集合場所からはすべてバスでの移動となります。  
参加するコースが決まりましたら、個別に詳細をご連絡いたします。

1日目 9/4 (火)	8:00 ~ 10:00	各集合場所から移動
	10:00 ~ 12:00	中部学院大学にてオープニング
	12:00 ~ 18:00	コース別プログラム実施
	18:00 ~ 19:00	研修拠点にて夕食
	19:00 ~ 20:00	交流会
	20:00	1日目終了
2日目 9/5 (水)	7:30 ~ 8:30	朝食
	8:30 ~ 18:30	各コース毎にプログラム実施
	18:30 ~ 19:30	夕食
	19:30 ~ 20:00	情報交換会
	20:00	2日目終了
3日目 9/6 (木)	7:30 ~ 9:00	朝食・片づけ
	9:00 ~ 11:30	成果発表会
	11:30 ~ 12:00	閉会式
	12:00 ~ 14:00	昼食・振り返り
	14:00 ~	解散、移動

研修  
拠点

郡上  
ヴァカンス村ホテル  
郡上市高鷲町鷲見2363-395

参加  
人数

15名程度  
(5大学50名程度名)

申込  
締切

2018年  
7月27日(金)

※申し込み先着順  
定員になり次第締め切りいたします。

※コース決定後に事前学習などの詳細をご連絡いたします。

【申込方法】

7月27日(金)申し込み締切

申込書を記入し、下記サマースクール担当者まで提出ください。

内容をメール ( plus@office.chubu.ac.jp ) に記載し、申し込みいただいても構いません。

(①氏名 ②性別 ③学年 ④学籍番号 ⑤学部 ⑥携帯電話 ⑦メールアドレス ⑧希望コース ⑨行きの集合場所 ⑩帰りの降車場所 ⑪その他)

氏名		性別		学年	
学籍番号		学部			
携帯電話		メールアドレス			
希望コース (A,B,C,Dを記入)	第一希望   _____ 第二希望   _____ 第三希望   _____ (A.関コース B.美濃コース C.郡上コース D.どのコースでも可) ※コースの希望がない場合は、第一希望にDのみ記入してください				
行きの集合場所 (1か所選択)	J R 岐阜駅 ・ J R 金山駅 中部学院大学関キャンパス	帰りの降車場所 (1か所選択)	J R 岐阜駅・J R 金山駅		
その他 (アレルギー、配慮事項)					

【申込み先】 中部大学 C O C 推進課 (16号館3階) ☎:0568-51-1763 ✉:plus@office.chubu.ac.jp

## サマースクール代替プログラムの様子(1)

台風 21 号の影響で中止となり、代替プログラムを実施した。

<フィールドワーク+課題のまとめ> 日帰り1日

平成 30 年 10 月 27 日(関コース)関鍛冶伝承館・刃物会館・フェザーミュージアム

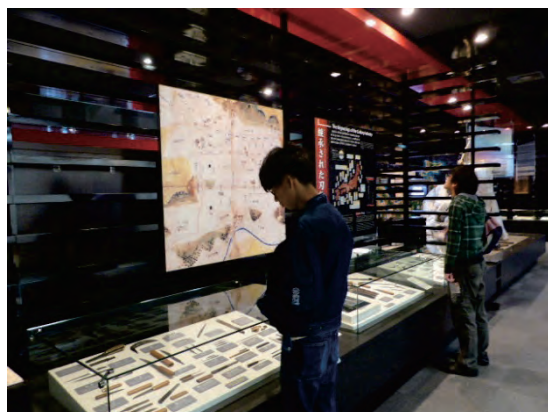
平成 30 年 11 月 3 日(美濃コース)美濃和紙の里会館・うだつのあがる町並み

平成 30 年 11 月 17 日(郡上コース)郡上市文化センター、郡上八幡市内

<関コース>

岐阜県関市は 700 年有余年の伝統を持つ世界三大刃物の都市として有名。

現在でも家庭用刃物の 50%のシェアを誇るものの、近年、海外の企業との競争が激化し最盛期と比較すると売上げは大きく減少しています。関市で効果が出始めている新たな取り組みを学び、関市の刃物産業を盛り上げる提案を考えました。



<美濃コース>

「和紙とうだつのまち」岐阜県美濃市は、日本を代表する伝統工芸品である本美濃紙がユネスコ無形文化遺産「和紙と手漉き技術」に選定されています。近年はアートやクラフトの素材として和紙が活用され始めています。九重製紙の工場を見学し、江戸時代から明治初期の「うだつ」の上がる町を訪ね、産業と文化・歴史・観光の観点から学習し、考えました。





## サマースクール代替プログラムの様子(2)

### <郡上コース>

清流と名水の城下町、郡上八幡。奥美濃から流れ出た三つの川が合流する地形に根付いた清流の文化は、環境省によって名水の町の指定も受けています。水利用のシステムである水舟、清らかな用水には鯉や川魚が泳ぎます。豊かな水文化の魅力を再発見して活用している事例に学びながら、新たな魅力の展開を考えました。



### <グループワーク+発表会> 日帰り1日

平成30年11月24日、12月1日

大学混成チームで課題に取り組む。

テーマ「伝統産業・文化の磨き上げ」5大学57名の学生が参加。(中部大学31名)



地（知）の拠点大学による地方創生推進（COC+）事業／多治見市共催プログラム

## COC+多治見プロジェクト 2018 実施概要

### 【概要】

▽テーマ：「多治見市における企業誘致戦略と新しいまちづくり」

企業誘致を促進することで、まちに雇用を生み、税金が増えるなど、地域経済の活性化が期待されます。多治見市には、10年間で22企業が進出しました。また、進出した企業による「地域貢献」、進出企業同士や企業と地域住民間での「交流」が新たな傾向として注目されており、多治見市も支援に力を入れています。学生の皆さんには、進出企業も地域住民もハッピーになる「地域貢献」や「交流」事業は何かについて議論し、多治見市の「新しいまちづくり」について考えます。

▽日程：2018年9月12日（水）～13日（木）1泊2日

▽宿泊先：三の倉市民の里地球村（住所／多治見市三の倉町猪場37 電話番号／0572-24-3212）

▽参加者：学生24名（うち岐阜大学3名、中部大学3名、日本福祉大学2名、名古屋学院大学16名）

▽担当窓口：多治見市産業観光課、名古屋学院大学社会連携センター

### 【事前準備】

▽多治見市の「企業誘致」に関する情報を収集

- ・多治見市ホームページ「企業誘致」

<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/shisaku/yuchi/kankyo/index.html>

- ・広報たじみ 平成29年12月号「企業進出のチカラ。」

<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/koho/kohoshi/h29/documents/2912-p03-07.pdf>

- ・広報たじみ 平成30年8月号「たじみいいところなところ」↓

「元気なまちの鼓動 ～地産地消、進出企業による地域貢献事業、企業支援～」

<http://www.city.tajimi.lg.jp/gyose/koho/kohoshi/h30/documents/3008-p03-07.pdf>

※皆さんが住んでいる町の「企業誘致」についても調べて、多治見市と比較してみてください！

### 【集合】

▽集合日時：9月12日（水）9時50分

▽集合場所：JR多治見駅改札口正面の陶壁前  
（改札は1ヶ所しかありません）

☆推奨①：JR金山駅9:06発 →（中央線多治見行）  
→ JR多治見駅9:49着

☆推奨②：JR金山駅8:40発 →（中央線中津川行）  
→ JR多治見駅9:18着



### 【持ち物等】

▽参加費：4,500円（当日回収／お釣りの無いように持参）

▽持ち物：筆記用具、宿泊セット（歯ブラシ・バスタオル、パジャマ等）、着替え 等  
※風呂場にボディーソープとシャンプーはあります

### 【引率教職員】

名古屋学院大学社会連携センター

※その他、多治見市役所産業観光課及び企業誘致課の皆さんが引率／案内をしてくださいます。

3. 活動報告<5大学共通プログラム>

**【日程表】**

**◇9月12日(水)**

9:50	集合 JR多治見駅改札口陶壁前 →バスに乗車
10:30~12:00	モザイクタイルミュージアム見学及び体験/多治見市笠原町 〔スクールバス移動〕
12:20~14:30	トヨタ自動車(株) 多治見サービスセンター/多治見市山吹町1丁目1番1 昼食 施設内レストラン (12:20~13:00) 概要説明+施設見学 (13:00~14:30) 〔スクールバス移動〕
14:50~15:50	明和工業(株)工場見学 /多治見市笠原町 993 〔スクールバス移動〕
16:10~16:40	長瀬テクノパーク (日本ガイシ(株)工場建設) 現場説明 /多治見市長瀬町 (Amazon 多治見フルフィルメントセンター説明含) 〔スクールバス移動〕
17:00~17:50	夕食 カフェ温土 /多治見市本町3丁目11番地 〔スクールバス移動〕
18:20	宿泊先(地球村)到着 多治見市三の倉町猪場37
18:30~19:30	体験学習棟にて講義・グループワーク
19:30~20:00	星空観測(地球村にある天文台にて)
~22:00	入浴を済ませる
23:00	消灯

**◇9月13日(木)**

7:00	起床 →7:30より朝食準備開始
8:00~8:30	朝食(地球村内にて)
8:50	地球村出発 〔スクールバス移動〕
9:20~10:00	美濃焼ミュージアム見学 学芸員解説付き /多治見市東町1丁目9-27 〔スクールバス移動〕
10:10~10:40	東町1丁目岐陶工連の跡地(企業誘致事業化)見学 〔スクールバス移動〕
11:00~12:00	産業文化センター大会議室 /多治見市新町1丁目23 10:30~16:30 観光協会駐車場 予約済▽講義:多治見市の企業誘致の取組 ▽講師:多治見市役所企業誘致課
12:00~13:00	昼食(弁当) @産業文化センター
13:00~16:00	グループワーク「多治見市の企業誘致」について考える
16:00	終了、解散→ 多治見駅へスクールバスで移動 (16:30頃解散予定)

**【注意事項】**

- ※訪問先では「明るい笑顔」「元気な挨拶」「大きな声で質問」を心がけてください。
- ※全日程を通して、飲酒禁止です。
- ※服装は、大学生らしい清潔感のある格好(ヒールの高い靴×、サンダル×、ピアス×、短パン×)。
- ※屋外での見学時は、熱中症にならないよう適度な水分補給を心がけてください。
- ※アレルギー症状のある方や、健康状態に不安にある方は、事前にお知らせください。
- ※プログラム終了後に発表や報告書作成をお願いする場合があります。ご了承ください。

## **(2) 企業見学会**



## 岐阜県内企業への理解を深めよう

# 東濃企業見学会

この企業見学会は、東濃の企業を知り、大学での学びと地域や地元産業・企業とのつながりを深く認識するとともに、キャリア意識の向上を図ることを目的としています。今回は中津川市で農産物の工場生産に成功し、教育型観光生産施設を運営する企業と土岐市で地場産業である窯業等に必要の窯を製造する企業の2社を見学します。

参加費  
**無料**  
要事前申込

開催日時

平成30年 **6月16日(土)** 8:00~18:00見学  
1**株式会社サラダコスモ**

日本における植物工場の先駆的存在



今では一般的になった「無漂白もやし」は、サラダコスモによるもので、現在ではスプラウト、チコリ等も植物工場で栽培している。新規事業で立ち上げた教育観光型生産施設「ちこり村」は中津川市の有数の観光スポットの1つである。

見学  
2**高砂工業株式会社**

セラミックスを作るための窯を製造する企業



焼き物を造る設備製造からスタート。今では蓄電池材料等の最先端材料の製造でもその技術が活かされている。また、近年では金属熱処理設備にも力を入れており、ものづくりの根元を支えている。

集合場所

岐阜大学正面ミニストップ前、又は  
JR岐阜駅（岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場）

見学日程

8:00	岐阜大学出発
8:30	JR岐阜駅出発
10:30 ~ 12:15	株式会社サラダコスモ 見学
12:30 ~ 13:15	昼食（恵那峡サービスエリア）
14:00 ~ 16:00	高砂工業株式会社 見学
17:30	JR岐阜駅到着
18:00	岐阜大学到着 解散

対象

岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜経済大学の学生（学年不問）

募集人数

**20名**（先着順）

参加費用

参加費無料 ※昼食等は自己負担

申込締切

**6月11日(月)**

申込方法

C-NETの支援プログラムAからお申込みください。

お問い合わせ

**中部大学 キャリア支援課**[TEL] 0568-51-4184 [E-Mail] [syusyoku@office.chubu.ac.jp](mailto:syusyoku@office.chubu.ac.jp)**中部大学**文部科学省  
**地(知)の拠点**

## 岐阜県内企業への理解を深めよう

# 高山企業見学会

岐阜大学では、地元企業をより深く理解し、企業との相互理解や他大学生との交流による学生のキャリア意識向上を図ることを目的とした企業見学会を実施しています。今回は、日本国内外から多くの観光客が訪れる高山市の企業2社を見学します。「おもてなし」を理念とした旅館と地域密着型で地元食材を豊富に取扱うスーパーマーケットを経営する企業です。

参加費  
**無料**  
要事前申込

開催日時 **平成30年6月23日(土) 8:00~18:30**

見学  
1

### 株式会社本陣平野屋

ミシュランガイド三ツ星の国際観光都市  
「飛騨高山」のおもてなし旅館



トリップアドバイザーのトラベラーズチョイス™ホテルアワード2015、2016で選ばれたおもてなしが魅力の旅館。

見学  
2

### 株式会社ファミリーストアさとう

Best of ご当地スーパー2013受賞  
高山の食文化を発信するスーパー



TBSのマツコの知らない世界等で取り上げられるなどメディア注目の地元密着型スーパー。ネット販売にも注力し、全国各地から注文が舞い込む。

集合場所 岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場) 又は岐阜大学正門ミニストップ前

見学日程

8:00	JR岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場) 出発
8:30	岐阜大学(ミニストップ前) 出発
11:00	高山市到着(自由見学・昼食)
12:30~13:50	株式会社本陣平野屋見学
14:10~15:30	株式会社ファミリーストアさとう見学
15:30	高山市出発
18:00	岐阜大学(ミニストップ前) 到着
18:30	JR岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場) 到着

対象 岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜経済大学の学生(学年不問)

募集人数 **20名**(先着順)

参加費用 **参加費無料** ※昼食等は自己負担

申込締切 **6月18日(月)**

申込方法 C-NETの支援プログラムAからお申込みください。

お問い合わせ

**中部大学 キャリア支援課**

[TEL] 0568-51-4184 [E-Mail] [syusyoku@office.chubu.ac.jp](mailto:syusyoku@office.chubu.ac.jp)



## 岐阜県内企業への理解を深めよう 西濃企業見学会

この企業見学会は、西濃の企業を知り、大学での学びと地域や地元産業・企業とのつながりを深く認識するとともに、キャリア意識の向上を図ることを目的としています。今回は関ヶ原で開発から製造まで一貫して行う製造業企業と、大垣で地域の高度情報化を果たすべく設立されたIT企業を見学します。

参加費  
**無料**  
要事前申込

開催日時

平成30年 **7月7日(土)** 8:15~16:10見学  
1

### 株式会社関ヶ原製作所

「グッドカンパニー大賞東海地区優秀企業賞受賞」企業。ニッチ戦略と高度な技術力が魅力

鉄道分岐器、接着絶縁レール事業は業界シェアトップクラス、サブミクロン単位の製造精度技術から大きさ7mのトンネル掘削機まで高度な技術をもとに7つの事業展開を行っている。

見学  
2

### 株式会社ソフィア総合研究所

社員の「ライフワークバランス」と地域の高度情報化への貢献の両立を目指すIT企業

地域の情報化を積極的に推し進めたいという地元産業界の意向を基に設立されたソフトウェア、ウェブサイトの構築などの受託開発を行うシステムインテグレーション企業。



集合場所

岐阜大学正面ミニストップ前、又はJR岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場)

見学日程

8:15	岐阜大学(ミニストップ前) 出発
8:45	JR岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場) 出発
10:00~11:30	関ヶ原製作所見学
12:00~13:00	昼食
13:30~15:00	ソフィア総合研究所見学
15:40	JR岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場) 到着
16:10	岐阜大学(ミニストップ前) 到着 解散

対象

岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜経済大学の学生(学年不問)

募集人数

**20名**(先着順)

参加費用

参加費無料 ※昼食等は自己負担

申込締切

**7月2日(月)**

申込方法

C-NETの支援プログラムAからお申込みください。

お問い合わせ

## 中部大学 キャリア支援課

TEL] 0568-51-4184 [E-Mail] syusyoku@office.chubu.ac.jp



## 中部大学



文部科学省  
地(知)の拠点



## 岐阜県内企業への理解を深めよう

# 郡上企業見学会

この企業見学会は、郡上の企業を知り、大学での学びと地域や地元産業・企業とのつながりを深く認識するとともに、キャリア意識の向上を図ることを目的としています。今回は郡上の観光産業の一翼を担っている企業2社（観光農園、サービスエリア運営企業）を見学します。

参加費  
**無料**  
要事前申込

開催日時

平成30年**11月10日(土)**8:00~18:40

見学  
1

### 株式会社牧歌の里コーポレーション

郡上の観光産業を代表する企業



標高1,000mにある観光牧場。常時20種類以上の花が咲き、様々な動物と触れ合える点が魅力。季節のイベントプログラムも充実しており、郡上を代表する観光スポットの一つ。

見学  
2

### 株式会社スクラム

標高日本一のサービスエリア運営企業



郡上に行く観光客の交通手段の8割は自動車によるもので、ひるがの高原サービスエリアは、郡上の観光に欠かせない存在。現地の自然で育まれた農産物・酪農品の重要な販路となっている。

集合場所

JR岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場)、又は岐阜大学正門ミニストップ前

見学日程

**8:00** JR岐阜駅(岐阜駅北口駅前広場団体バス乗降場)出発  
**8:30** 岐阜大学(ミニストップ前)出発  
**10:30** 株式会社牧歌の里コーポレーション見学  
(11:00~12:45の自由見学の間に各自で昼食)  
**14:30** 株式会社スクラム見学  
**16:40** 郡上市出発  
**17:40** 岐阜大学到着  
**18:10** JR岐阜駅到着

対象

岐阜大学、中部学院大学、中部大学、日本福祉大学、名古屋学院大学、岐阜経済大学の学生(学年不問)

募集人数

**20名**(先着順)

参加費用

参加費無料 ※昼食等は自己負担

申込締切

**11月2日(金)**

申込方法

C-NETの支援プログラムAからお申込みください。

お問い合わせ

**中部大学 キャリア支援課**

[TEL] 0568-51-4184 [E-Mail] [syusyoku@office.chubu.ac.jp](mailto:syusyoku@office.chubu.ac.jp)



**中部大学**



文部科学省  
地(知)の拠点

### **(3) ぎふCOC+事業推進コンソーシアム成果発表会**



平成30年度 ぎふCOC+事業推進コンソーシアム

# 成果発表会

## 12月22日(土) 13:30-16:30

### @中部大学名古屋キャンパス6階 大ホール

ぎふCOC+事業推進コンソーシアムは、平成27年度に岐阜大学が主幹校となって文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」に採択されたことに伴って組織されました。岐阜大学・中部学院大学・中部大学・日本福祉大学・名古屋学院大学の5大学が参画しています。各大学では共通の目標・ステップに基づいた教育プログラムを実施しており、主に岐阜県をフィールドとして活動をしています。今回は各大学で学ぶ学生たちがその学修成果を発表します。

【プログラム概要】 ※プログラムは都合により変更する可能性があります

13:00~受付

13:30~開会挨拶・COC+事業概要説明

13:50~学生による発表

①参加大学共通プログラム

②中部学院大学

14:50~学生による発表

③中部大学

④日本福祉大学

⑤岐阜大学

15:50~講評・閉会挨拶

—閉会—

16:00~16:30 情報交換会(無料)

入場無料  
申込不要

【お問い合わせ先】  
岐阜大学 地域協学センター  
岐阜市柳戸1-1  
TEL 058-293-3880  
E-mail ccsc@gifu-u.ac.jp



中部学院大学 大学院/大学/短期大学部  
Chubu Gakuin University & College



中部大学



日本福祉大学



名古屋学院大学



文部科学省  
地(知)の拠点

## ぎふCOC+事業推進コンソーシアム 成果発表会の様子

日時： 2018年12月22日(土) 13時30分～16時30分

場所： 中部大学名古屋キャンパス6階 大ホール

### <プログラム>

13:30～ 開会の挨拶

ぎふCOC+事業統括事業推進コーディネーター、羽島市副市長 成原 嘉彦

COC+事業概要説明

岐阜大学地域協学センター長 益川 浩一

13:50～ 学生による成果報告

15:50～ 講評・閉会挨拶

中部大学研究戦略部門COC推進室長 松尾 直規



人文学部 3年 野田遼河、応用生物学部 2年 葛西瑠紀  
テーマ 「平成30年度サマースクールについて」



工学部 2年 赤塚隆之介・田中拓斗・田中悠斗・溝田淳之介・山下虎太郎・渡邊知博  
テーマ 「地域活性化リーダーへの道のり」

#### (4) 岐阜企業展



地元企業の魅力発見!  
未来への扉を見つけよう。

約400社が参加

入場無料  
入退場自由  
スーツ着用不要

岐阜県主催

# オール岐阜・企業フェス

GIFU Companies Job Fair

岐阜県史上最大級のプレ就活イベント!

日時  
会場

2018. **11/16** 金・**17** 土  
13:00~17:00 10:00~17:00

特設会場では  
多彩なイベント!

岐阜メモリアルセンター で愛ドーム ほか  
(岐阜市長良福光大野2675-28)

スペシャルトークショー!  
岐阜の企業の魅力  
トークセッション  
インターンシップ基礎講座  
就活「美」メイク講座など

対象

県内外の高校生・大学生・短大生・第二新卒、学生の保護者など  
※主な対象は、高校1~2年生、大学1~3年生、短大1年生です。



JR岐阜駅から  
シャトルバスが随時運行!  
詳しくは下記までお問い合わせください。

オール岐阜・企業フェス  
企業図鑑DX  
もれなく進呈!

お問い合わせ ●岐阜県商工労働部産業人材課 TEL058-272-8406(直通)  
●岐阜新聞社広告局(運営委託先) TEL058-264-1158(直通)

清流の国ぎふ

オール岐阜・企業フェス

検索

主催/岐阜県、産学金官連携人材育成・定着プロジェクト推進協議会



### 3. 活動報告<5大学共通プログラム>

清流の国ぎふ

詳細は  
こちら! ▶▶▶



岐阜県での就職を応援する **#ぎふジョブ** から2020年3月以降に卒業予定の皆さんへ

# 岐阜県合同企業 ガイダンス **in名古屋**



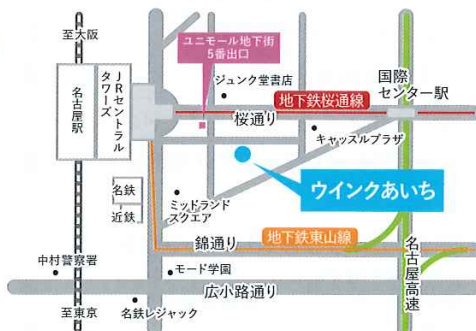
開催日時

2018年 **12月10日** 月  
15:00~19:00

会場

**ウインクあいち 7F展示場**  
(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅(JR名古屋駅桜通口)  
ユニモール地下街5番出口 徒歩2分

地図



入場無料

入退場自由

スーツ着用

公務員志望の方も見逃さない!

出展企業 **50社**  
+ 自治体ブース

**スタンプラリー開催!**

企業ブース3社訪問でもれなく  
「QUOカード500円分」プレゼント!!

学生満足度

**97%**

95%の来場者が、  
応募したい企業が見つかりました!

※昨年度アンケートより

来場者の声

- ▶ 大きなイベントと違って、岐阜ならではのアットホームな雰囲気よかった
- ▶ 気になる企業の疑問点が解消できて満足!
- ▶ 地元ならではの、というメリットがたくさん見つけれられました!

**ガイダンスPoint!!**

**1** 企業や業界の**実情をしっかりと学べる!**

**2** **岐阜県を代表する企業**が出展

▶ **上場企業** ▶ **トップシェア企業**

▶ **100年続く長寿企業**

▶ **岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業**  
など、岐阜県の優良企業が出展します。

**3** **企業経営者の生の声**が聞ける!

県内企業トップによるリレートーク(講演会)を開催

当日飛び入り参加も可能ですが、  
予約していただくと当日の受付がスムーズです。▶



**in京都**

開催日時

2018年 **12月13日** 水  
15:00~19:00

会場

メルパルク京都 7F  
JR京都駅(烏丸中央口)から乗約1分

**in東京**

開催日時

2018年 **12月5日** 水  
2019年 **2月15日** 水  
15:00~19:00

会場

東京交通会館 6F  
LEAGUE有楽町  
JR山手線・有楽町線:有楽町駅  
(京橋口・銀座側中央口)徒歩1分

岐阜県で就職をするならココの情報をチェック!就職活動を全力応援します!

岐阜県就職応援サイト

**#ぎふジョブ**

- 岐阜県の魅力企業紹介、社員インタビュー
- 岐阜県の就職イベント情報
- 就活に関する悩み相談など

#ぎふジョブ

検索

さらに、LINEで最新情報をお届け!

※二次元コードを読み取るとLINEお友達登録画面に移ります。



問い合わせ先

**岐阜県就活コンシェルジュ**

大学生等県内就職促進事業窓口:株式会社中広  
TEL:058-215-0661

**岐阜県商工労働部産業人材課**

TEL:058-272-8406

FAX:058-278-2676 MAIL:c11369@pref.gifu.lg.jp

主催/岐阜県・岐阜県経営者協会

3. 活動報告<5大学共通プログラム>



**参加企業一覧** (アイエオ順 No.1~59)  
※予定

岐阜県合同企業ガイダンス 名古屋 12月10日(月)、京都 12月13日(木)  
岐阜県Uターン就職座談会 東京① 12月5日(水)、東京② 2月15日(金)

No.	企業名	名古屋	京都	東京①	東京②
1	株式会社アイコットリョーワ	●			
2	株式会社秋田屋本店	●			
3	アピ株式会社	●	●	●	
4	アルプス薬品工業株式会社	●			
5	株式会社市川工務店	●			
6	イビデン株式会社	●	●	●	
7	株式会社イマオコーポレーション	●	●		
8	株式会社恵那川上屋	●			
9	株式会社エヌテック	●		●	
10	株式会社大垣共立銀行	●	●		●
11	株式会社大光	●	●		●
12	特許業務法人オンダ国際特許事務所		●		
13	株式会社カケフホールディングス	●			
14	河合石灰工業株式会社	●			
15	岐建株式会社	●	●		
16	岐セン株式会社	●			
17	株式会社ギフ加藤製作所	●			
18	株式会社岐阜造園		●		●
19	株式会社岐阜多田精機	●			
20	株式会社岐阜新聞社	●			
21	岐阜信用金庫	●	●		
22	岐阜セラック製造所		●		
23	岐阜プラスチック工業株式会社	●	●		●
24	株式会社K V K	●			
25	サンメッセ株式会社	●	●		●
26	ジーエフシー株式会社	●	●		●
27	株式会社十六銀行	●		●	
28	昭和コンクリート工業株式会社				●
29	生活協同組合コープぎふ	●			
30	西濃運輸株式会社				
	株式会社セイノー情報サービス	●	●	●	
	濃飛西濃運輸株式会社				
31	セブン工業株式会社	●		●	
32	大進精工株式会社	●			
33	大日本土木株式会社	●	●		●
34	太平洋工業株式会社	●	●		●
35	株式会社高山グリーンホテル	●			
36	株式会社TYK	●	●	●	
37	株式会社電算システム		●		●
38	株式会社トーカイ	●	●	●	
	たんぼぼ薬局株式会社	●	●		

No.	企業名	名古屋	京都	東京①	東京②
39	中日本ダイカスト工業株式会社		●		
40	鍋屋バイテック株式会社		●		
41	日本耐酸壇工業株式会社	●	●		
42	濃飛倉庫運輸株式会社	●			
43	株式会社日本一ソフトウェア	●			
44	株式会社ハウテック	●	●		
45	長谷虎紡績株式会社	●	●		
46	株式会社バローホールディングス	●	●		
	中部薬品株式会社	●			
47	ヒロタ株式会社	●	●		
48	株式会社ファミリーカーショップ	●			
49	福田刃物工業株式会社	●			
50	富士変速機株式会社	●			
51	株式会社文溪堂	●			
52	株式会社本陣平野屋	●	●		
53	株式会社丸順	●			
54	株式会社水生活製作所	●			
55	ミズタニバルブ工業株式会社		●		
56	ミズノテクニクス株式会社	●	●		
57	未来工業株式会社	●			
58	株式会社メイホーホールディングス			●	
59	レシップホールディングス株式会社	●	●	●	

●各団体の公務及び各地域の企業情報を紹介します。

60	岐阜県経営者協会 岐阜県インターンシップ推進協議会	●	●		
61	岐阜市	●			
62	各務原市/各務原市雇用・人材育成推進協議会	●			
63	大垣市/大垣商工会議所	●			
64	関市/関市みんなの就職サポートセンター/関市雇用促進協議会	●			
65	郡上市/郡上市雇用対策協議会	●			
66	恵那市	●			
67	中津川市	●			
68	高山市/高山市雇用促進協議会	●			
69	飛騨市	●			
70	下呂市	●			
71	岐阜県庁	●	●		
72	岐阜県警察本部	●	●		
73	岐阜県教育委員会	●			

# 岐阜県業界研究& インターンシップ説明会

参加  
無料私服  
OK!

岐阜県内の優良企業がブースを出展します。  
企業の魅力やインターンシップの内容等を直接説明してもらえるので、企業研究の第一歩としておすすめです。

2018年

12/27(木)

参加企業

44社

13:00~17:00 (受付開始12:30)

事前予約不要/途中入退場自由

※出展企業の詳細は裏面をご参照ください。



たくさんの企業が皆さんをお待ちしています。  
是非多くの企業を訪問してください!

対象：2020年以降に卒業予定の大学院・大学・短大・高専・専修/専門学校の学生さん

## ●事前にマナー講座を開催します!(12:00~12:45)

経験豊富な講師より、マナーについて学びます。  
ブースでの立ち振る舞いについてもレクチャーします。

事前予約者  
のみとなります

## ●特設コーナーでは企業プレゼンを開催!

各社の魅力や実習内容等について理解を深めることができます。

- ① 13:45~14:15 (株)文溪堂  
② 14:30~15:00 (株)大垣共立銀行

事前予約者を  
優先します

## ●岐阜のご当地アイドルに会える!(15:15~15:45)



岐阜のアイドル「やながせゆっこ」が岐阜  
の魅力を紹介します。さらに講演中にコ  
ミュニケーションの秘訣も紹介しますので  
興味ある方は是非ご参加を!

★イベントの詳細・事前予約はこちら  
webサイト「マイプランネット」のトップページ「企業プレ  
ゼン/適性検査の事前予約」からご予約下さい。

岐阜 マイプランネット  検索

URL <http://www.gifukeikyo.org/myplan/>



## ●会場のご案内●

じゅうろくプラザ 2F

(岐阜市橋本町1-10-11)

JR岐阜駅 北口より徒歩約2分

## 会場の周辺図



一般社団法人 岐阜県経営者協会 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

TEL 058-266-1151 E-mail [jmk@gifukeikyo.org](mailto:jmk@gifukeikyo.org)

後援 岐阜県、岐阜県学生就職連絡協議会

(岐阜県内18国公私立大学・短期大学部と経済団体等で構成する組織)

## 岐阜県業界研究&インターンシップ説明会 参加企業一覧

- 金融** 岐阜信用金庫、関信用金庫、東濃信用金庫、(株)大垣共立銀行※
- 製造** (株)アイコトリヨーワ、揖斐川工業グループ、(有)エドランド工業  
(株)オンダ製作所、岐阜プラスチック工業(株)、コダマ樹脂工業(株)  
(株)桜井グラフィックシステムズ、SANEI(株)、三甲(株)  
昭和コンクリート工業(株)、大同プレーンベアリング(株)、高安(株)、(株)TYK  
天龍ホールディングス(株)、(株)東和製作所、日本耐酸壘工業(株)  
(株)ハラテックス、福寿工業(株)、フジ精密(株)、矢橋ホールディングス(株)、  
レシップホールディングス(株)
- 医療・福祉・環境サービス** (株)トーカイ
- 建設** 岐建(株)、(株)野田クレーン、(株)パナホーム愛岐、(株)山辰組
- 商社(家具)** (株)久米商店(スーパーバリュー)
- 商社(自動車)** 岐阜トヨタ自動車(株)、岐阜トヨペット(株)、(株)ホンダカーズ岐阜
- 旅客運送** 岐阜乗合自動車(株)
- 情報サービス** (株)セイノー情報サービス、(株)ソフィア総合研究所、(株)テクノア  
スーパー (株)バローホールディングス
- 物流** 西濃運輸(株)、濃飛西濃運輸(株)
- 不動産** (株)ニッショー
- 出版・印刷** (株)文溪堂※
- その他サービス** 特許業務法人オンダ国際特許事務所

※ (株)大垣共立銀行、(株)文溪堂は、プレゼンのみの参加となります。

※参加企業は一部変更となる場合があります。詳しくはwebサイトをご覧ください。

学生会員募集中

岐阜県内の業界研究やインターンシップ関連のイベント情報について  
無料で配信します。「マイプランネット」からぜひご登録下さい。☞



### ●今後の催しのご案内●

- ・平成31年2月13日(水) 岐阜県企業・業界研究会 会場:じゅうろくプラザ 2F
  - ・平成31年2月20日(水) 岐阜県企業・業界研究会 in 名古屋 会場:ウインクあいち 7F
  - ・平成31年3月7日(木) 岐阜県就職ガイダンス2020【Part1】 会場:じゅうろくプラザ 2F
  - ・平成31年3月9日(土) 岐阜県就職ガイダンス2020【Part2】 会場:岐阜市文化センター 1F
- ※その他の催しについては、開催が決定次第 WEB サイトに掲載します。

文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」  
(平成27年度採択)  
事業名称「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」

地域で活躍する「地域活性化リーダー」教育プログラム  
2018(平成30)年度 成果報告書

発行日 2019(平成31)年3月

編集発行 中部大学 研究推進事務部COC推進課  
〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地  
電話:0568-51-1763 FAX:0568-51-4659  
<http://www3.chubu.ac.jp/coc/>

印刷 木野瀬印刷株式会社  
〒486-0958 愛知県春日井市西本町三丁目235番地

